

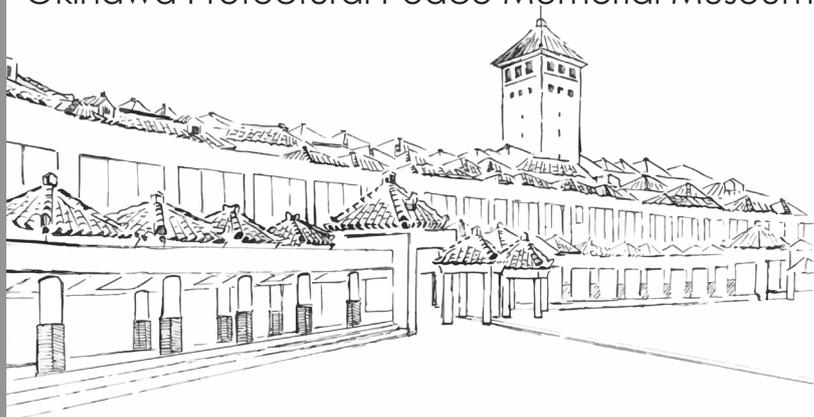


2019(令和元)年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第20号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：令和元年度 第29回 児童・生徒の平和メッセージ

図画部門 小学校低学年の部

最優秀賞 「にじがあるへいわなせかい」

図画／東村立高江小学校1年 しょうじ ななは 莊司 七羽

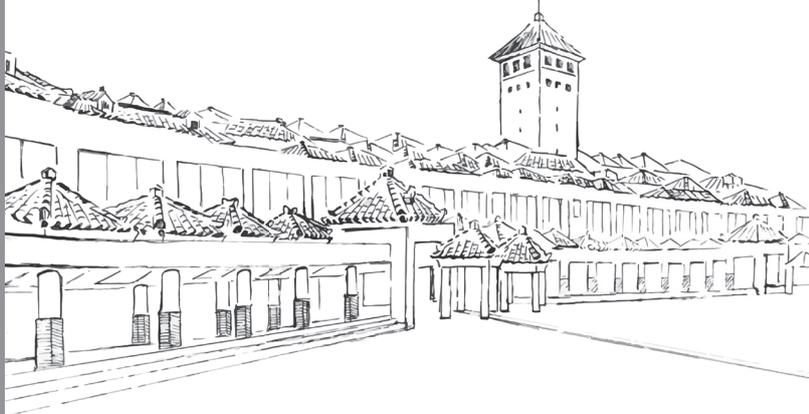
■ 2019(令和元)年度

■ 沖縄県平和祈念資料館年報

■ 第20号

■ 沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



はじめに

沖縄県平和祈念資料館は、開館以来沖縄戦の実相・教訓を後世へ正しく伝え、平和を大切にする「沖縄のこころ」を世界へ発信し、恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行っています。戦後75年目の今年は、これまで経験したことがない新型コロナウイルス感染拡大防止により2020（令和2）年3月9日～3月15日、4月10日～5月20日まで臨時休館いたしましたが、3月末までの来館者は、7,824,906人となりました。

当館の常設展示は、沖縄戦に至るまでの経緯及び実相と戦後における住民の戦災復興、平和を希求する人々の足跡などを展示しています。また、展示をより深く理解してもらうために、県内小・中・高等学校及び特別支援学校等の児童・生徒を対象にした平和講話を行っています。特に学校現場と連携した事業「児童・生徒の平和メッセージ」事業は、第29回を数え、県内小中高等学校及び特別支援学校等の平和学習の一環として定着しつつあります。2019（平成31／令和元）年度は、「図画」「作文」「詩」の3部門で総数2,463点の作品応募がありました。「詩」部門の小学校高学年の部最優秀作品「本当の幸せ」は、「沖縄全戦没者追悼式」において朗読され、その平和へのメッセージは多くの参加者に感動を与えました。

展示活動では、特別展「武田美通・鉄の造形 戦死者たちからのメッセージ」を開催しました。

「鉄の造形家」として活躍した武田氏の作品は、サイパンや沖縄、満州で自死した母子たち、被爆した人々、鉄の砲弾ではなく飢餓状態で亡くなった日本兵たち、今は物言えぬ人々に代わり、その切なる思いを渾身の力で表現しています。それは想像を絶する極限状態のなかで戦争の不条理と残酷さを身をもって体験した沖縄戦の実相と重なり、本館での展示資料と併せて、戦争の愚かさや恒久平和への願いを発信する展示会となりました。

子ども・プロセス企画展では、沖縄戦につながる様々な状況、特に沖縄守備軍の配備やサイパンの戦い、10・10空襲、学童疎開、対馬丸の遭難、不発弾に関する展示など、子どもたちの視点から戦争や平和学習に取り組めるように工夫を凝らした企画展を開催しました。

さらに2階のギャラリーにおいて「体験者が描く 沖縄戦の絵」や「小さな瞳による紡ぎ、繋ぐ平和への思い」「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」などのミニ展示を行いました。

八重山平和祈念館（分館）は、八重山地域の忠魂碑・慰霊碑・戦争遺跡を紹介した「八重山の戦跡～たどる島の記憶～」や開館20周年記念企画展「八重山平和祈念館20年のあゆみ」を開催しました。戦争マラリア犠牲者遺族の活動から祈念館が設立し、現在に至るまでを年表で紹介したり、体験者から聞き取り調査を行うなど貴重な証言記録を紹介しました。

2006（平成18）年より活動を行っている平和祈念資料館友の会は、戦争体験者を中心とする会員による平和講話をはじめ、修学旅行生などを対象にした戦跡の案内、地域における平和学習支援など幅広い活動を行っており、本県の平和行政へご尽力を頂いております。

当館及び八重山平和祈念館は、「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“学びの場”として、今後とも多くの皆さまに利活用していただくことを願っています。また、活動状況をまとめたこの冊子も広くご活用いただければと思います。

2020（令和2）年7月

沖縄県平和祈念資料館
参事兼館長 外間裕朋

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概 要

- 1 沿 革…………… 1
- 2 日誌（抄）2019（平成31／令和元）年度…………… 6
- 3 施 設……………11
- 4 組 織……………14
- 5 2019（平成31／令和元）年度歳入歳出決算（本館及び分館）……………18
- 6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会……………20

II 調査研究事業

- 1 第26回日本平和博物館会議……………21

III 展示企画事業

- 1 常設展……………22
- 2 企画展……………23
 - (1) 令和元年度特別展 武田美通・鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」……………23
 - (2) 子ども・プロセス企画展……………25
 - (3) 2019（令和元）年度ギャラリー展……………27

IV 資料収集・活用事業

- 1 新収蔵品目録……………28
 - (1) 実物資料……………28
- 2 資料貸出実績……………28
 - (1) 資料の貸出……………28
 - (2) 証言映像の貸出……………30
- 3 撮影・掲載等利用一覧……………31

V 教育普及事業

- 1 教育普及行事……………36
 - (1) 第29回「児童・生徒の平和メッセージ」事業……………36
 - (2) 親子ビデオ上映会及び慰霊の日沖縄戦関連ビデオ上映会……………39
 - (3) 夏休み子ども向け企画……………40
- 2 教育機関との連携……………41
 - (1) 平和講話……………41
 - (2) 離島・遠隔地講師派遣事業……………41
 - (3) 児童・生徒の職場体験（インターンシップ）……………41
 - (4) 沖縄少年院連携事業……………42
 - (5) 大学連携事業……………42
 - (6) 博物館学芸員実習……………43
- 3 講座・講習会・研修会……………43
 - (1) 県内学校教員向け平和講話等利用案内説明会……………43
 - (2) 県立学校初任者研修会における講義……………43
 - (3) 島尻教育事務所 中堅教諭等資質向上研修会における講義、館内視察研修……………44
 - (4) 幼稚園・認定こども園初任者研修会における講義……………44
 - (5) 「島守の塔」慰霊継承新採用職員研修における講義、館内視察研修……………44

I 概

要

II

事

調

査

研

究

III

事

展

示

企

画

IV

資

料

収

集

・

活

用

事

業

V

事

教

育

普

及

VI

出

広

報

活

動

等

・

VII

事

そ

の

他

の

業

の

VIII

入

館

者

状

況

別

IX

八

重

山

平

和

X

活

友

動

の

報

告

会

XI

規

関

係

・

要

例

・

XII

入

年

館

度

状

況

別

(6) 那覇教育事務所 中堅教諭等資質向上研修会における講義、館内視察研修	44
(7) 国頭教育事務所 初任者研修における講義	44
(8) 島尻教育事務所 初任者研修における講義	45
(9) 那覇教育事務所 初任者研修における講義	45
(10) 那覇教育研究所 初任者研修における講義	45
(11) 沖縄県平和祈念資料館講習会	45
VI 広報活動・出版等	
刊行物	46
VII その他の事業	
1 2019（平成31／令和元）年度「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業	47
2 事業成果	47
VIII 入館者状況	
1 月別入館者数	48
2 年度別入館者数	49
3 月別県内・県外学校、その他団体見学者（小人）観覧状況	50
4 市町村別団体入館者数	51
5 都道府県別団体入館者数	52
IX 八重山平和祈念館	
1 概要	53
2 施設	55
3 事業概要	57
4 2019（平成31／令和元）年度 月別入館者数	60
X 沖縄県平和祈念資料館友の会	
1 活動内容	61
2 申込方法	61
3 申込条件	61
4 2019（平成31／令和元）年度講話・ガイド活動実績件数	61
5 2019（平成31／令和元）年度活動内容	62
XI 関係条例・規則・要綱	
1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	63
2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	66
3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	72
4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項	73
XII 沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	85

I 概 要

1 沿 革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外 間 盛 治	2000 (平成12) 年4月～2002 (平成14) 年3月
阿波根 昌 安	2002 (平成14) 年4月～2003 (平成15) 年3月
島 袋 記美子	2003 (平成15) 年4月～2005 (平成17) 年3月
川 満 茂 雄	2005 (平成17) 年4月～2007 (平成19) 年3月
宮 城 智 子	2007 (平成19) 年4月～2009 (平成21) 年3月
大 川 芳 子	2009 (平成21) 年4月～2011 (平成23) 年3月
呉 屋 禮 子	2011 (平成23) 年4月～2013 (平成25) 年3月
上與那原美和子	2013 (平成25) 年4月～2014 (平成26) 年3月
國 仲 功	2014 (平成26) 年4月～2016 (平成28) 年3月
原 田 直 美	2016 (平成28) 年4月～2019 (平成31) 年3月
外 間 裕 朋	2019 (平成31) 年4月～

[主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 [商工美術(株) (株)沖縄ノムラ] と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株)乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催
1997 (平成9) 年度	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決

	10月22日	沖縄県平和祈念資料館（仮称）建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館（仮称）・資料収集広報キャンペーンを開催（巡回展、講演会）
1999（平成11）年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館（仮称）建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会举行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会（最終）開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館（旧資料館）閉館
2000（平成12）年度	4月1日	開館（一般公開始まる）
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催：広島市、長崎市（～27日）
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催（～23日） ビル・クリントンアメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001（平成13）年度	4月25日	入館者50万人達成
2002（平成14）年度	10月18日	入館者100万人達成
2003（平成15）年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004（平成16）年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始（～12月18日）平成18年度まで
2005（平成17）年度	4月7日	入館者200万人達成
2006（平成18）年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007（平成19）年度	6月21日	ミュージアムショップ開店（運営：沖縄県平和祈念財団）
	7月6日	入館者300万人達成
2008（平成20）年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009（平成21）年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業（～平成24年3月）
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備（英文表記追加）
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え（～3月31日）
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え（～3月19日）
2010（平成22）年度	4月1日	収蔵品等整理業務委託（～平成24年3月31日）

	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託（～平成24年3月31日）
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発行
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
2011（平成23）年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始（～10月30日）
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
2012（平成24）年度	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」（～平成25年3月27日）
	12月1日	「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 （～平成27年3月）
2013（平成25）年度	10月29日	入館者550万人達成
	2月12日	キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来館
2014（平成26）年度	2月7日	入館者600万人達成
2015（平成27）年度	10月10日	デービッド・イゲハワイ州知事来館
	10月16日	「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 JICA理事長賞受賞
	3月1日	「沖縄のこころ」平和発信強化事業 多言語タブレット等運用開始
2016（平成28）年度	6月15日	入館者650万人達成
	7月	沖縄・カンボジア「博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」 事業 ※JICA草の根技術協力事業（～平成29年6月）
2017（平成29）年度	4月19日	李俊揆（イ・ジュンギョ）駐日大韓民特命全権大使視察
	11月9日	入館者700万人達成
	11月13日	ウィリアム・F・ハガティ駐日アメリカ合衆国大使視察
2018（平成30）年度	6月22日	韓国済州島済州道立美術館のギム・ジュンギ館長一行来館
	7月20日	ハリール・アルムーサウィー駐日イラク大使視察
【主な企画展等、その他催し】		
2000（平成12）年度	企画展「寄贈・寄託品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展	
2001（平成13）年度	企画展「収藏品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会（2回）	
2002（平成14）年度	特別企画展「占領下のこども文化展－メリーランド大学所蔵プランゲ文庫『村上寿世記念児童書コレクション』に探る－」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会	

- 2003（平成15）年度 企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2004（平成16）年度 特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2005（平成17）年度 特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（3回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2006（平成18）年度 特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2007（平成19）年度 特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世（イクサユ）の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座（2回）
- 2008（平成20）年度 特別企画展「カンポーヌクェヌクサーー沖縄 戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
- 2009（平成21）年度 特別企画展「イクサユヌワラビ～戦時下の教育と子どもたち～」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展
- 2010（平成22）年度 特別企画展「沖縄のこころを世界へー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」（20回）、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネルディスカッション」、「『NAHAマラソンの道』～走る道、逃げる道～」展、「子ども・未来・メッセージ展」（台湾・沖縄交流事業）
- 2011（平成23）年度 特別企画展「アメリカ世（ユ）の沖縄ー逞しくしたたかに生きてきたウチナーンチューー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
- 2012（平成24）年度 特別企画展「沖縄人が見た戦世とアメリカ世」児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展
- 2013（平成25）年度 特別企画展「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄～ハワイウチナーンチュの沖縄へのウムイ～」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、

	沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展
2014（平成26）年度	特別企画展「南洋の群星が見た理想郷と戦～70年の時を超えて旧南洋群島ウチナーンチュの汗と血そして涙～」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会沖縄戦講座「日系二世ウチナーンチュが見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につなぐ平和のウムイ事業」成果報告展、企画展「絵本原画展及びオーサズトーク」、日系米国人版戦争体験収録事業成果報告展「日系二世が見た戦中・戦後～母国と祖国の間で」、「カンボジア光と影Ⅲ」展
2015（平成27）年度	特別企画展「戦後70年伝え残す記録 ウチナーンチュが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン」児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会、企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展（平成25年度・26年度寄贈）」、日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展、沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議
2016（平成28）年度	特別企画展「ウチナーンチュが見た満洲～『旧満州国』・『偽満州国』～」児童・生徒の平和メッセージ展（県内5カ所、国外1カ所）子ども・プロセス企画展（5回）、特別講座「“回想”～遙かなる大地、満洲～」沖縄県平和祈念資料館講習会
2017（平成29）年度	特別企画展「戦世と沖縄芝居 ー夢に見る沖縄 元姿やしがり」特児童・生徒の平和メッセージ展（県内5カ所、国外1カ所）、特別講座「戦世と沖縄文化ー文化財と芝居の視点からー」、企画展「新収蔵品展（平成27年度・28年度寄贈）ーモノからつなぐ記録」、ギャラリー展（5回）、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、第24回日本平和博物館会議（当館開催）
2018（平成30）年度	特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」児童・生徒の平和メッセージ展（県内4カ所、国外1カ所）特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」ギャラリー展（4回）、子ども・プロセス企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会
2019（令和元）年度	特別展「武田美通・鉄の造形全30作品展 戦死者たちからのメッセージ」児童・生徒の平和メッセージ展（県内5カ所）「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業ギャラリー展（4回）子ども・プロセス企画展（4回）

2 日誌 (抄) 2019 (平成31 / 令和元) 年度

- 4月3日 県内学校教員向け平和講話等利用説明会
- 4月18日 委員監査
- 4月20日 入館者数750万人達成
- 5月5日 子どもの日親子ビデオ上映会 (179名)
- 5月9日 第1回中堅教諭等資質向上研修会 (島尻教育事務所)
- 5月9日 県立学校初任者研修会 大会議室
- 5月14日 児童・生徒の平和メッセージ事業委託業者入札会
- 5月27日 第1回子ども・プロセス企画展 (～7月10日)
「1944年、沖縄戦前夜－75年前、その時、何が」
- 5月31日 京都府議会行政視察
- 5月31日 沖縄地域史協議会総会
- 6月3日 外務省招聘事業イラン記者招聘 (取材)
- 6月7日 第1回「島守の塔」継承事業に係る県新採職員研修
" 第29回児童・生徒の平和メッセージ展入選者発表 (本庁)
- 6月10日 「マブニ・ピース・プロジェクト沖縄2019」開催 (～30日)
- 6月13日 「平和への思い」発信・交流・継承事業企画コンペティション
- 6月14日 県立幼稚園・認定こども園初任者研修
- 6月23日 第29回児童・生徒の平和メッセージ展開催 (～7月5日)
" 開館時間1時間延長 (入館者2,888人)
" 慰霊の日ビデオ上映会 (603人)
- 7月2日 JICA課題別研修
- 7月6日 大学連携事業 (当館及び平和祈念公園内)
- 7月11日 第1回ギャラリー展「体験者が描く沖縄戦の絵」 (～9月18日)
- 7月12日 児童・生徒の平和メッセージ展開催 (八重山平和祈念館～21日)
- 7月20日 第2回子ども・プロセス企画展「チャレンジ!夏休み自由研究」 (～8月31日)
観覧者数 10,758人
" 夏休み自由研究相談室【情報ライブラリー】 (～8月31日)
- 7月27日 夏休み子ども教室【情報ライブラリー】
- 7月24日 那覇教育事務所中堅教諭等資質向上研修
- 7月26日 久高小中学校校内研修 (常設展示室及び平和公園内)
- 7月29日 国頭教育事務所初任者研修
- 7月30日 島尻教育事務所初任者研修
- 7月30日 児童・生徒の平和メッセージ展開催 (宮古島市役所～8月8日)
- 7月31日 那覇教育事務所初任者研修
- 8月1日 県交流推進課事業ウチナージュニアスタディー見学
- 8月2日 那覇市教育研修所初任者研修
- 8月4日 夏休みこどもウィーク (学芸班) ～11日
" 親子平和学習【常設展示室】 (4、8、10日) 計16名
" 短編アニメ上映会【平和祈念ホール】 (5、6、9日) 計293人
" 親子平和学習ツアー【平和祈念公園内】 (7、11日) 計21名
" 北九州市議会行政視察
- 8月13日 学芸員実習【沖縄国際大学3名、大阪国際大学1名】 (～21日)
- 8月19日 児童・生徒の平和メッセージ表彰式・開会式 (本庁～23日)
- 8月20日 内閣府事務次官視察

- 8月21日 大分市議会行政視察
- 9月3日 厚生労働副大臣視察
- 9月3日 第1回子ども・プロセス企画展（～10月31日）「1944年、沖縄戦前夜ー75年前、その時、何が」観覧者数30,002人
- 9月8日 内閣府 国際博物館会議（ICOM：International Council of Museums）京都大会2019年 ポストカンファレンスin沖縄
- 9月11日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（名護市立中央図書館～24日）
- 9月12日 ベストミス沖縄事務局表敬
- 9月21日 台風のため閉館
- 9月24日 館内収蔵庫等燻蒸作業（～25日）
- 9月25日 特別展業務委託入札・開札
- 10月11日 「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業（10月11日～20日）
- ” 第2回ギャラリー展「小さな瞳による紡ぎ、繋ぐ平和への思い」（～令和2年1月15日）
- ” 児童・生徒の平和メッセージ展開催（企画展示室～25日）
- 10月17日 福井県知事視察
- 10月19日 「平和への思い」発信・交流・継承事業シンポジウム（沖縄県立博物館・美術館 講堂）
- 11月1日 特別展武田美通・鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」（～12月15日）16,035名
- 11月8日 第2回「島守の塔」継承事業に係る県新採職員研修
- 11月13日 第3回子ども・プロセス企画展「第二次世界大戦開戦80年ー戦時下の報道、宣伝、教育ー」（～令和2年2月24日）観覧者数23,001人
- 11月20日 JICA国別研修（コロンビア）
- 11月21日 日本平和博物館会議【神奈川県立地球市民かながわプラザ】（～21日）
- 11月27日 館内消防訓練
- 12月19日 広島県議会視察
- 12月25日 第1回沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催（大会議室）
- 12月28日 マハテイル・ビン・モハマドマレーシア首相視察
- 12月29日～1月3日（休館日）
- 1月16日 第3回ギャラリー展「児童・生徒の平和メッセージアーカイブ展」（～令和2年5月13日）
- 1月22日 EU駐日大使視察
- 1月24日 雪だるま親善大使児童来館
- 2月14日 第2回沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催（大会議室）
- 2月28日 定期監査
- 3月4日 第4回子ども・プロセス企画展「沖縄戦の絵ー子どもたちに伝える戦争の記憶」（～令和2年5月15日）観覧者数2,101人
- 3月9日～15日 臨時休館（新型コロナウイルスのため）
- 3月10日 防災訓練（当館、財団、祈念堂）
- 3月11日 沖縄県平和祈念資料館講習会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- 3月17日 施設管理、昇降機、浄化槽管理委託業務入札
- 3月19日 新収蔵品展【企画展示室】（～令和2年5月27日）
- 3月20日 特別講座（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

I
概

要

II
事 調
査 研
究 業
務III
事 展
示 企
業 画IV
活 資
用 料
事 集
業 集V
事 教
育 普
及VI
出 広
版 報
活 活
動 動
等 等VII
事 そ
の 他
業 のVIII
入 入
館 館
者 者
状 状
況 況IX
祈 八
念 重
館 山
平 平
和 和X
活 友
動 動
の の
報 報
告 告
会 会XI
規 関
則 係
・ 条
要 例
綱 。XII
入 年
館 度
状 状
況 別

沖縄県にとって平和発信の重要施設も 20 年になりました。



沖縄県平和祈念資料館外観
広場の中央には「平和の火」が灯されている



木陰より眺める外観



沖縄の集落風景をイメージした赤瓦屋根



伝統的な沖縄赤瓦を使用した漆喰の赤と白のコントラストが際だつ外観



広々とした多目的広場は休日にはグランドゴルフやピクニックなど県民の安らぎの場となっている



展望室から眼下に見える同心円状に配置された「平和の礎」



展望室から見える「平和祈念堂」は、“美と平和の殿堂”として世界平和を願う「沖縄平和祈念像」が安置されている



心地よい海風が吹き抜ける「雨端（アマハジ）」



赤瓦屋根から突出した展望室



正面玄関



「平和の礎」から資料館へのびるスロープ



『海と礎の回廊』

目の前に広がる沖縄の青い海と空を「展示」したこの部屋は、戦争の悲惨さと沖縄の実相を見終った後、静かに心を癒す場所である



来館者を迎える入口玄関のシーサー



ガラスや石材を多用し、列柱と高い吹き抜けの湾曲した白く長いホール



様々な表情をしたシーサーが資料館を守っている



沖縄県平和祈念資料館のことをいちばんよく知っている虹の妖精“アカナちゃん”

3 施 設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808㎡

延床面積 10,179㎡

ウ 総事業費 約7,291百万円（県債6,510、施設整備基金139、一般642）

工 事 費 4,900百万円

設 計 費 155百万円

展 示 工 事 費 1,535百万円

展 示 設 計 費 126百万円

情 報 シ ス テ ム 171百万円

そ の 他 404百万円

エ 主な施設 常設展示室（1～5室） 1,360㎡

企画展示室 255㎡

子ども・プロセス展示室 518㎡

情報ライブラリー 472㎡

平和祈念ホール 245㎡

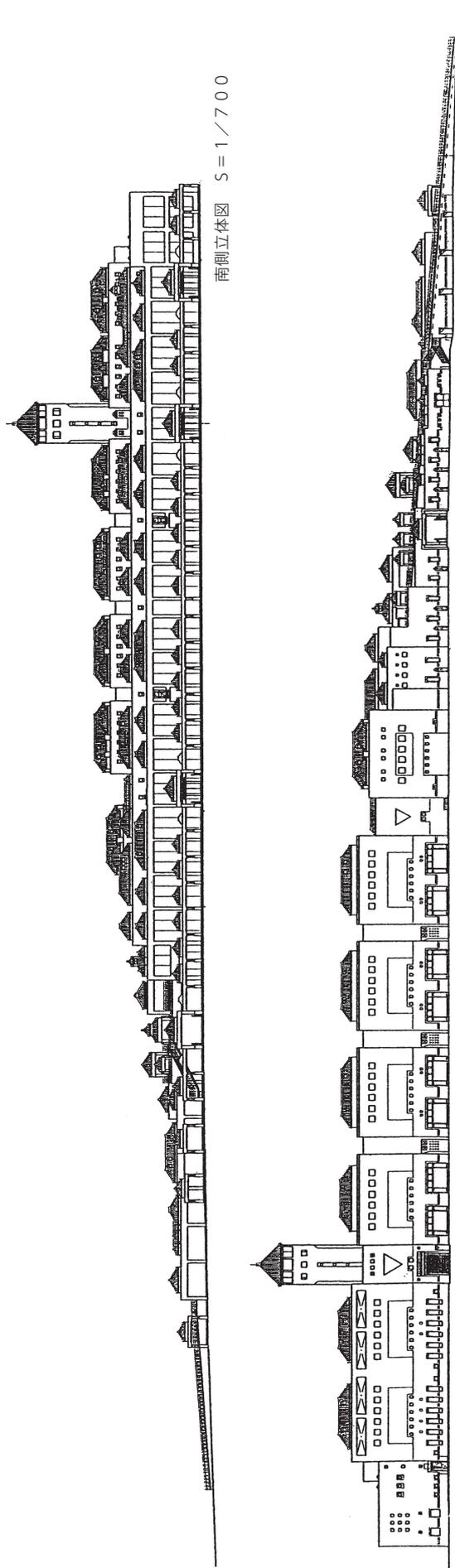
海と礎の回廊 256㎡

会 議 室 200㎡

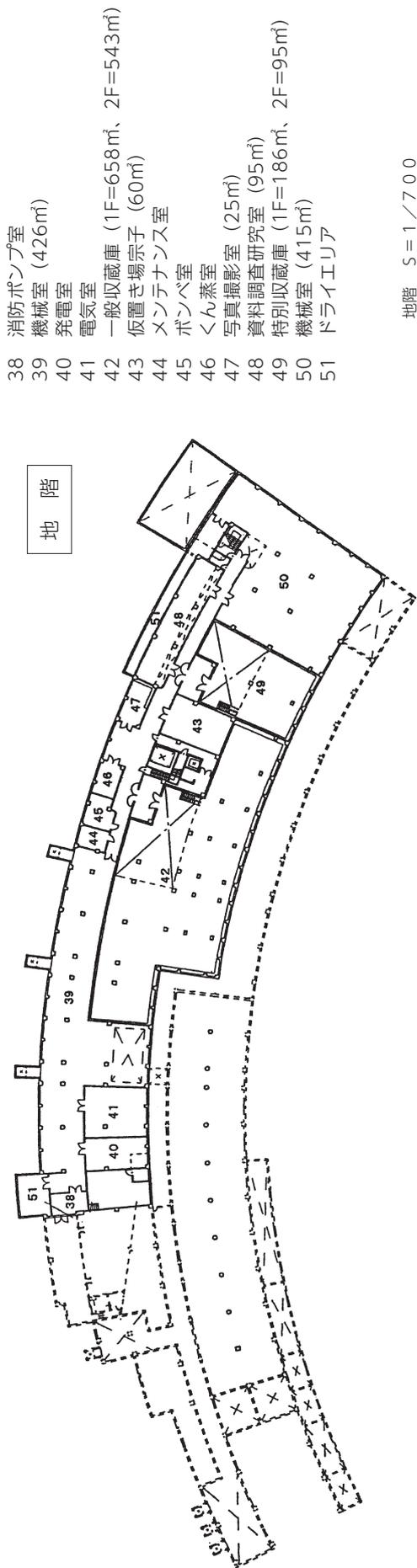
一般収蔵庫 1,201（1F、2F）㎡

特別収蔵庫 281（1F、2F）㎡

(3) 立面図

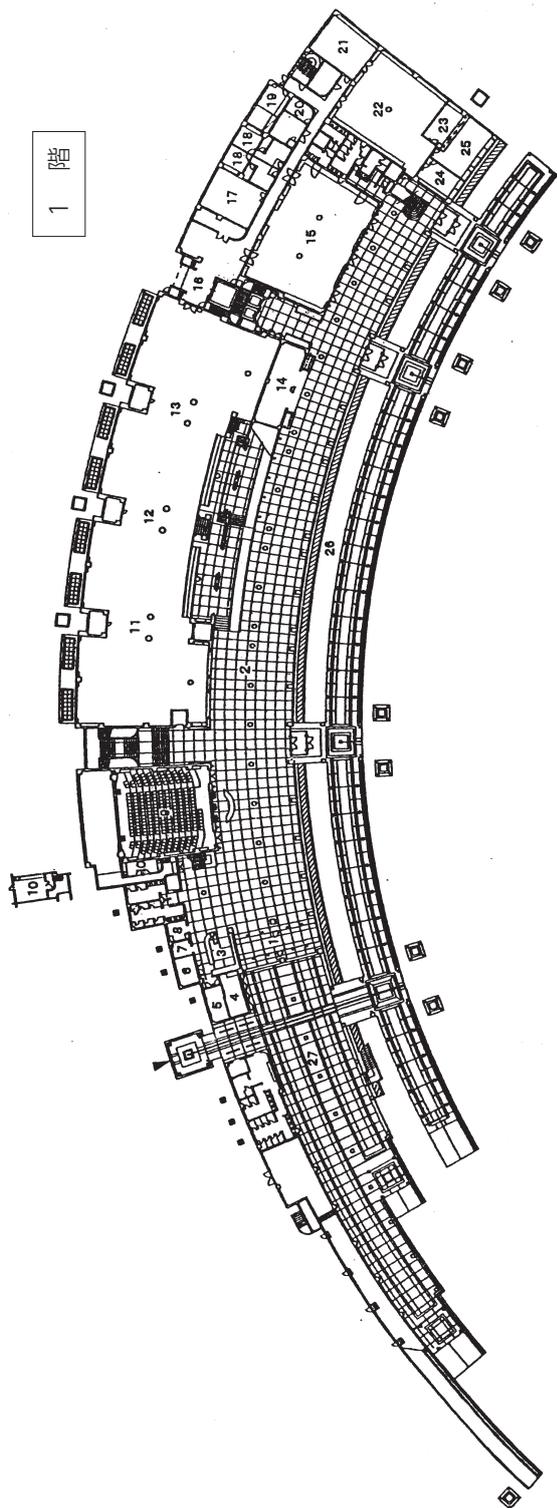


(4) 平面図



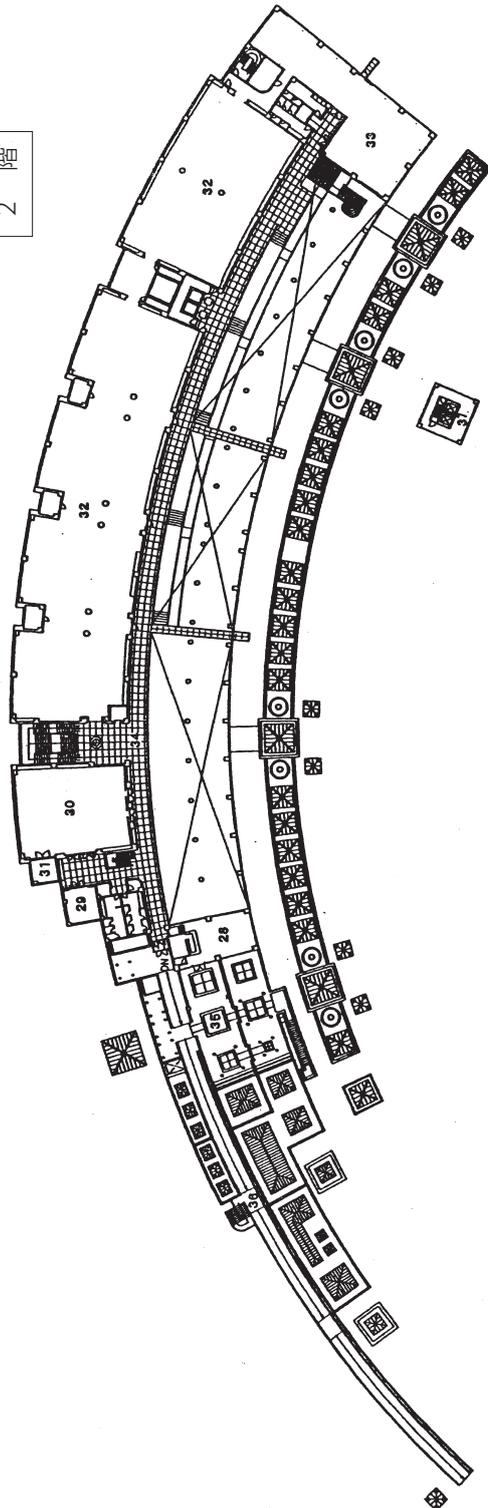
- 1 エントランス
- 2 ホール (1,510㎡)
- 3 ミュージアムショップ (28㎡)
- 4 事務室
- 5 ボランティア添乗員室
- 6 授乳・救護室
- 7 TELルーム
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平和祈念ホール (245㎡・231席)
- 10 楽屋・調整室
- 11 子供展示室 (285㎡)
- 12 プロセス展示室 (233㎡)
- 13 情報ライブラリー (472㎡)
- 14 アルコーブ (255㎡)
- 15 企画展示室
- 16 荷解き室 (49㎡)
- 17 情報処理室
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室 (52㎡)
- 22 事務字会員室 (158㎡)
- 23 小会議室
- 24 館長室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ピロティ

1 階



1階 S=1/700

2 階

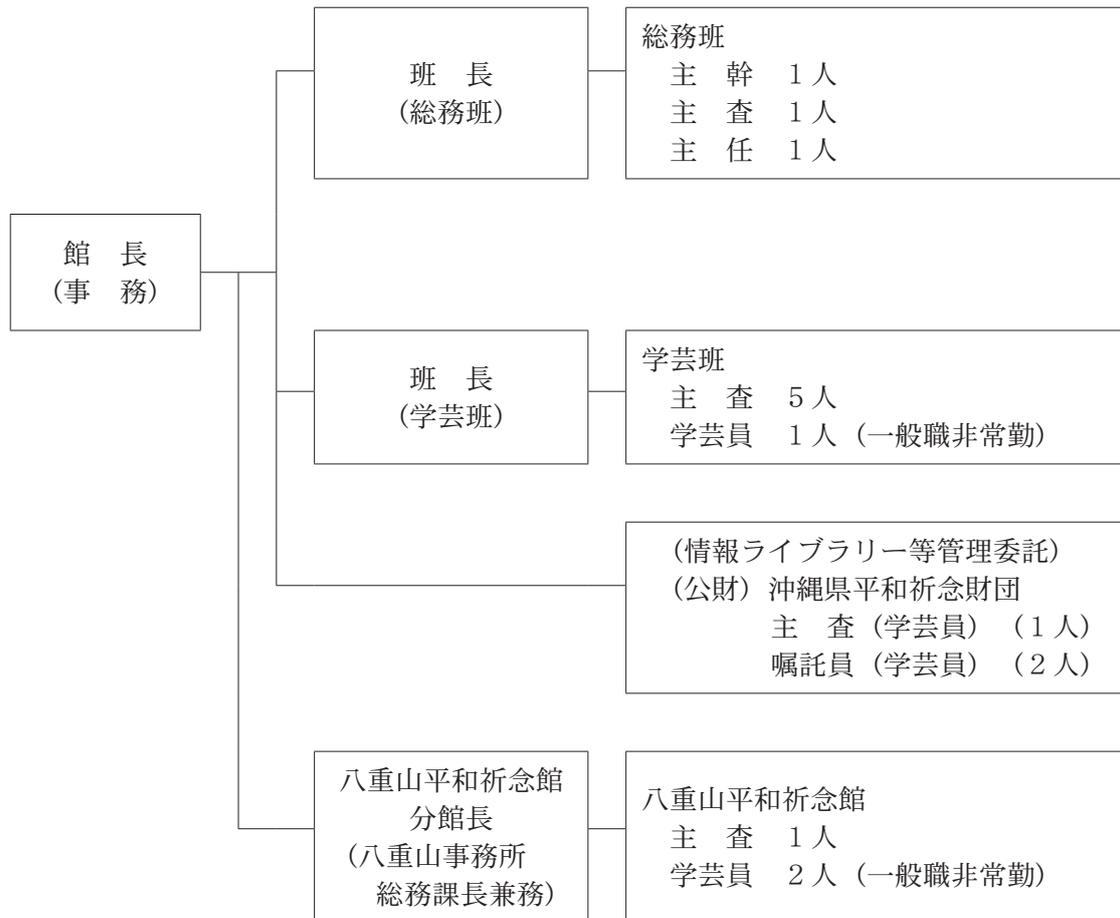


2階 S=1/700

- 28 喫茶室 (86㎡)
- 29 事務室
- 30 会議研究室 (200㎡・100席)
- 31 調整室
- 32A 常設展示室 1~4 (957㎡)
- 32B 常設展示室 5 (403㎡)
- 33 海と礎の回廊 (256㎡)
- 34 ギャラリー (373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室

4 組織

(1) 機構 2019（平成31）年4月1日現在



* その他ビル管理会社の常駐委託職員 受付（3人）、警備（2人）、清掃（2人）、機械設備管理（1人）

(2) 職員構成 2019（平成31）年4月1日現在

職名	氏名	担当業務
館長	外間 裕朋	資料館業務の総理に関すること

総務班 凡例：主担当（主） 副担当（副） 共通（共）

職名	氏名	担当業務
班長	伊佐 康幸 (出納員)	管理運営に係る将来計画の策定に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他庶務会計に関する事項

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 幹	新 垣 伸 弥	出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項歳入 事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 委託料に関する事項 修繕料に関する事項 音声ガイダンス等音響機器の管理に関する事項 機器のリースに関する事項 備品の執行管理に関する事項 公有財産に関する事項 情報システム構築に関する事項（副） その他庶務・会計に関する事項
主 査	平 良 理 奈	給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の收受、保管に関する事項 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 決算に関する事項 公用車の管理に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 その他庶務会計に関する事項
主 任	亀 谷 耕	団体入館予約に関する事項 団体入館予約のサインページへの入力事務 リーフレットの送付に関する事項 拾得物に関する事項 年報、「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 常設展示室・収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） 情報システム構築に関する事項（主） その他庶務・会計に関する事項

学 芸 班

凡例：主担当（主） 副担当（副） 共通（共）

職 名	氏 名	担 当 業 務
班 長 (総括)	上 原 恵 二	学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項（主） 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項（主） 管理運営の将来計画策定に関する事項（学芸的事項）（主） 予算・決算・議会对応の資料作成に関する事項（学芸的事項）（主） 運営協議会に関する事項（委員の選任、運営及び議題）（主） 要人・議員団・その他公的研修等案内及び割り振り（主） 公的研修に関する事項（主） 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項（主） 沖縄県資料保存利用機関連絡会議（主） 消防防災に関する事項（副） 「平和への思い」発信・交流・継承事業（副） 平和講話に関する事項（共）

職名	氏名	担当業務
主査	金城篤	「平和への思い」発信・交流・継承事業（主） 提案展示会等への対応に関する事項（主） 沖縄県地域史協議会に関する事項（主）※総会のみ 英語に関する業務 特別企画展の企画・立案に関する事項（副） 情報化推進に関する事項（副） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主査	大嶺 拡	児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（主） 収蔵資料の管理に関する事項（主） 八重山平和資料館との連携に関する事項（主） JICA、国外関係機関等との連携に関する事項（主） 質問照会の回答担当に関する事項（主） 常設展示（子どもプラザ展示室）の管理運営に関する事項（主） 少年院との連携に関する事項（主） 収蔵品展（副） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主査	新垣成美	特別企画展の企画・立案に関する事項（主） 特別講座に関する事項（主） 夏休み親子平和学習に関する事項（主） キャリア教育に関する事項（主） 英語に関する業務 常設展示室（第1・2室）の管理運営に関する事項（主） 日本平和博物館会議（主） 「平和への思い」発信・交流・継承事業（副） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主査	長島 誠	展示物等の撮影許可・著作権申請等及びマニュアル作成に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 離島・遠隔地講師派遣事業に関する事項（主） 資料館講習会の企画等に関する事項（主） 広報に関する業務（主） 情報化推進に関する事項（主） 常設展示室（第5及び屋外）の管理運営に関する事項（主） こどもの日・慰霊の日のアニメ上映会に関する事項（主） 「平和への思い」発信・交流・継承事業（副） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主査	金城孝之	証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（収蔵品展）（主） 県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項（主） 常設展示（第3・4室）の管理に関する事項（主） 沖縄県博物館協会に関する事項（主）※総会のみ 大学との連携模索に関する事項（主） 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項（主） 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副） その他学芸業務に関する事項（共）

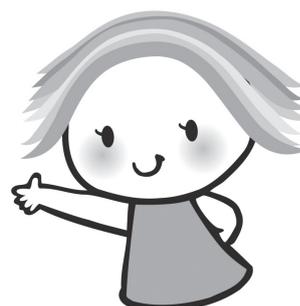
職 名	氏 名	担 当 業 務
非 常 勤 (学芸員)	太 田 麻砂美 新 垣 奈津子 工 藤 紗也香	展示活動の企画・準備・実施に関する事項 (副) 資料・収蔵品の登録・整理に関する事項 HP の更新に関する事項 その他学芸業務の補助に関する事項 ・館内事業案内掲示など広報等に関する事項 ・沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 その他上司の命に関する事項

委 託

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平 田 守	施設の設備の管理 施設の図書資料等の管理 企画展の開催 施設の利用促進 沖縄戦に関するレファレンス業務 資料館が企画する講演会・講習会等の講師 特別企画展に関する事項全般への指導助言 収蔵資料の登録、整理に関する指導助言
嘱 託 員 (学芸員)	狩 俣 友 美 儀 間 智 美	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 収蔵資料の整理に関する事項

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	仲 村 卓 之	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 査	古波蔵 弥 生	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項
非 常 勤	井 出 麻里衣 田 盛 敦 子	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項



アカナちゃん

5 2019（平成31 / 令和元）年度歳入歳出決算（本館及び分館）

歳 入

単位：円

科 目	常 設 展 室	ホ ー ル、 会 議 室 等 使 用 料	ミ ジ シ ブ ユ ア ヨ ー ム ツ 等	「平和への思 い」発信・交 流・継承事業 (沖縄振興特別 推進交付金)	寄 附 金	不 用 品 代 不 売 払 代	合 計
資 料 館 観 覧 料	49,887,145	0	0	0	0	0	49,887,145
本館	49,651,070						49,651,070
分館	236,075						236,075
資 料 館 使 用 料	0	1,029,730	0	0	0	0	1,029,730
本館		1,028,930					1,028,930
分館		800					800
建 物 使 用 料	0	0	213,836	0	0	0	213,836
本館			213,836				213,836
分館							0
建 物 貸 付 料（本館）			519,930				519,930
寄 附 金							0
雑 入（本館）			638,769				638,769
「平和への思い」発信・ 交流・継承事業（本館）				17,570,000			17,570,000
合 計	49,887,145	1,029,730	1,372,535	17,570,000	0	0	69,859,410
本館	49,651,070	1,028,930	1,372,535	17,570,000	0	0	69,622,535
分館	236,075	800	0	0	0	0	236,875

歳 出

単位：円

科 目	管 理 運 営 事 業	展 示 活 動 事 業	「平和への思い」発信・交流・継承事業	平 和 祈 念 資 料 館 緊 急 補 修 事 業			合 計
報 酬	195,300	7,280,573	0				7,475,873
本館	195,300	4,047,360					4,242,660
分館		3,233,213					3,233,213
共 済 費							0
賃 金							0
報 償 費	18,000						18,000
旅 費	224,650	473,190	0				697,840
本館	101,450	404,220					505,670
分館	123,200	68,970					192,170
需 用 費	33,081,746	501,850	0	0			33,583,596
本館	31,363,857	444,850					31,808,707
分館	1,717,889	57,000					1,774,889
役 務 費	1,946,878	4,100	0				1,950,978
本館	1,851,511	0					1,851,511
分館	95,367	4,100					99,467
委 託 料	71,996,230	17,814,852	21,963,358	0			111,774,440
本館	70,697,078	17,814,852	21,963,358				110,475,288
分館	1,299,152						1,299,152
使 用 料 及 び 賃 借 料	2,965,766	0	0				2,965,766
本館	2,954,786						2,954,786
分館	10,980	0					10,980
工 事 請 負 費				34,566,000			34,566,000
備 品 購 入 費	277,986						277,986
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	10,000						10,000
公 課 費	0						0
合 計	110,716,556	26,074,565	21,963,358	34,566,000			193,320,479
本館	107,469,968	22,711,282	21,963,358	34,566,000			186,710,608
分館	3,246,588	3,363,283	0				6,609,871

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員名簿

任期：2019（平成31／令和元）年12月18日～2021（令和3）年12月17日

区分	役職名	氏名	現職名
学識経験者	会長	當眞 嗣一	沖縄考古学会顧問
教育関係者	副会長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
学識経験者	委員	安里 英子	ライター（元沖縄大学非常勤講師）
	委員	下地 芳郎	沖縄観光コンベンションビューロー会長
	委員	照屋 寛	沖縄県平和祈念財団評議員
	委員	前泊 克美	ひめゆり平和祈念資料館学芸員
	委員	里井 洋一	琉球大学教育学部教授
	委員	船附 初江	社会福祉法人理事長（保育園園長）
	委員	前泊 和枝	沖縄平和協力センター理事長
	委員	平良 正栄	豊見城市教育委員会指導主事（嘱託）
公募	委員	大城 貴代子	おきなわ女性財団理事長
	委員	出井 香	自営業（元公立小学校教諭）

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職名	氏名	現職名
学識関係者	部会長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
	委員	照屋 寛	沖縄県平和祈念財団評議員
	委員	里井 洋一	琉球大学教育学部教授

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

①2019（平成31／令和元）年度第1回運営協議会

日時：2019（令和元）年12月25日（水）13：30～16：30

場所：平和祈念資料館 2階 大会議室

内容：(1)議題

- ①沖縄県平和祈念資料館 中長期計画（素案）について
- ②〔本館〕2018（平成30）年度事業報告について
- ③〔本館〕2019（令和元）年度事業経過報告について
- ④〔分館〕2018（平成30）年度事業報告及び2019（令和元）年度事業経過報告について

②2019（平成31／令和元）年度第2回運営協議会

日時：2020（令和2）年2月14日（金）14：00～16：00

場所：平和祈念資料館 2階 大会議室

内容：(1)議題

- ①中長期計画（素案）に対する運営協議会委員御意見への対応方針（案）について
- ②〔本館〕2019（平成31／令和元）年度事業報告について
- ③〔本館〕2020（令和2）年度事業計画（案）について

(2)報告

- ①〔分館〕2019（平成31／令和元）年度事業報告及び2020（令和2）年度事業計画（案）について

II 調査研究事業

1 第26回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究等を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的として、1994（平成6）年に設立された。年1回の定例会開催のほか、研修や共同事業を行っている。

2019（令和元）年度は、神奈川県立地球市民かながわプラザを事務局として開催された。

- (1) 期 間：令和元年11月21日（木）～11月22日（金）
- (2) 開催場所：神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）
神奈川県横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1
- (3) 参加博物館

	施設名	所在地
①	埼玉県平和資料館	埼玉県
②	川崎市平和館	神奈川県
③	立命館大学国際平和ミュージアム	京都府
④	広島平和記念資料館	広島県
⑤	長崎原爆資料館	長崎県
⑥	沖縄県平和祈念資料館	沖縄県
⑦	ひめゆり平和祈念資料館	沖縄県
⑧	ピースおおさか	大阪府
⑨	神奈川県立地球市民かながわプラザ	神奈川県

(4) 日 程

【11月21日（木）】

①定例会

協議題1 「白黒写真のカラー化、VR技術等の活用について」

協議題2 「原爆展の共催の可能性について」

協議題3 「若い世代と『平和』を繋ぐ取り組みについて」

協議題4 「第10回国際平和博物館会議に対する協賛（名義）の使用について」

聴取事項について報告

- ・ SNSの活用の在り方
- ・ 寄贈資料について
- ・ 特別展の共催や他館移動展の受入れ
- ・ 消費税引上げ後の入館料や販売物等の改定
- ・ 折り鶴の受入状況や活用
- ・ 収蔵品のインターネット上での公開、保存が難しい資料の処理
- ・ WiFiの設置状況
- ・ 外国人向けの音声ガイド以外への対応
- ・ 図書室等の運営管理及び利用促進
- ・ 戦後75年に係る事業計画

②館内視察 神奈川県立地球市民かながわプラザ常設展示及び企画展示の視察

【11月22日（金）】

テーマ「子どもたち・若者へどう伝えるか～平和のこと」

第1部：講師① 浜田桂子氏（絵本作家）

講師② 石岡史子氏（NPO法人ホロコースト教育資料センター（Kokoro）理事長）

第2部：セミナー

ファシリテーター 平山 恵氏（明治学院大学国際学部教授／国際平和研究所所員）

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦－鉄の暴風－」

およそ3ヵ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦－地獄の戦場－」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ（自然の鍾乳洞）とそこで起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦－証言－」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校のように、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえない命、そしてぬちどう宝・世界の子どもたち・いのちのわ（輪）についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびなー（庭）」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万6千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料等の充実

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器（LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー）とコントローラー、映像ディスク（LDディスクからDVDディスクへ）を刷新した。
- ②常設展示室2Fの第1室と第5室の年表パネルを刷新した。
- ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。（平成22年度）
- ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。（平成26年度）
- ⑤常設展示室2Fの第2室の大型スクリーンを刷新した。（平成27年度）
- ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化（日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語）を進めた。（平成27年度）
常設展示室音声ガイドシステム機器50台を新規導入。音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳した。（平成27年度）
- ⑦デジタルサイネージシステムを導入（平成27年度）
- ⑧第4室住民の見た沖縄戦証言多言語映像モニター4台設置（平成30年度）

2 企画展

(1) 令和元年度特別展 武田美通・鉄の造形全30作品展「戦死者たちからのメッセージ」

- ①開催場所：沖縄県平和祈念資料館 企画展示室
- ②開催期間：令和元年11月1日（金）～12月15日（日）
- ③協力（作品所有者）：武田美通・鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」を広める会
- ④観覧者総数：16,035人
- ⑤趣旨

当館は、悲惨な沖縄戦の実相とそこから得た歴史的教訓を正しく次代へ継承し、恒久平和に寄与するという設立理念のもと、開館以来、様々な視点で戦争と平和について考える展示会を開催してきた。

2019（令和元）年度は「鉄の造形作家」として活動した武田美通氏の作品を紹介する特別展を

(2) 子ども・プロセス企画展

第1回「1944年、沖縄戦前夜 -75年前、その時、何が・・・-」

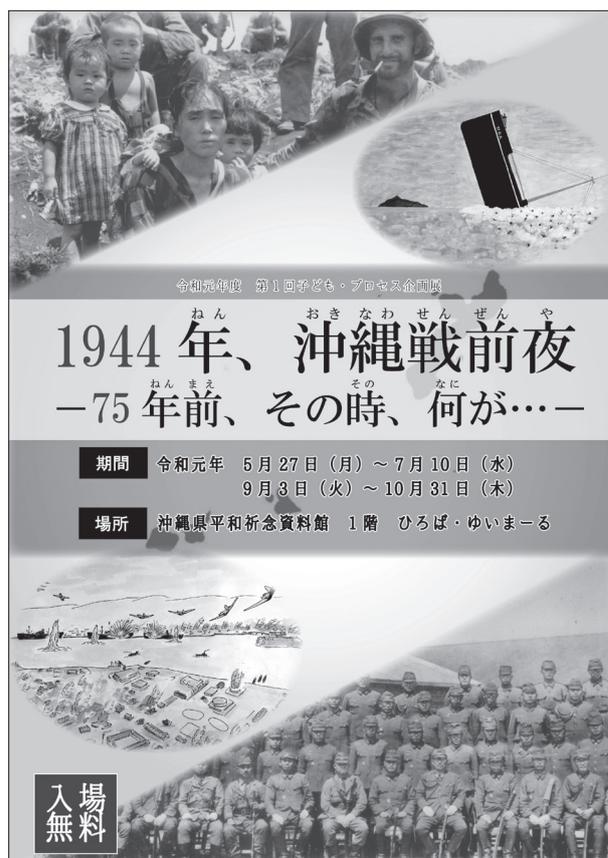
本年は、沖縄守備軍の配備やサイパンの戦い、学童疎開、対馬丸遭難、10・10空襲など沖縄戦につながる様々な出来事が75周年を迎える。この機会に、沖縄戦前年の状況について展示することで、沖縄が戦場となった経緯について学習できるようにする。また、戦争中の子どもたちに焦点をあてることで、戦争や平和についてより深く考える場とする。

[期 間]

令和元年5月27日(月)～7月10日(水)
9月3日(火)～10月31日(木)

[内 容]

- ①太平洋戦争の概要
 - ②75年前、その時、何が・・・
 - ・日本軍の配備
 - ・南洋諸島の戦い
 - ・県外への疎開
 - ・対馬丸の遭難
 - ・10・10空襲
 - ・フィリピンの戦い
 - ③沖縄戦への道
- [観覧者数] 30,002人



第2回「チャレンジ！夏休み自由研究 -沖縄戦について調べてみよう-」

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行う。情報ライブラリー内に自由研究学習コーナーを設置して、子どもたちが学習に集中して取り組めるようにする。また、子どもたちへの助言・指導のため、会期中に自由研究相談室や子ども教室を開催する。

[期 間]

令和元年7月20日(土)～8月31日(土)

[内 容]

- ①自由研究の進め方やテーマ選びのヒント
- ②研究テーマの紹介・解説
 - ・戦時下の教育
 - ・学童疎開
 - ・10・10空襲
 - ・沖縄戦の概要
 - ・沖縄戦の被害
 - ・住民の戦場動員
 - ・住民の避難状況
 - ・不発弾
- ③自由研究のまとめ方(研究ノートや新聞)を紹介

[観覧者数] 10,758人



第3回「第二次世界大戦開戦80年 -戦時下の報道、宣伝、教育-

第二次世界大戦の原因とその戦闘経緯、そして日本の参戦から終戦までを子どもたちが学習できるように展示する。また、戦時中の日本が、国民を戦争に総動員するために行った報道、宣伝、教育などの実態についても展示する。世界大戦の過ちを繰り返さないためには、どうすればいいのかを子どもたちが考える機会とする。

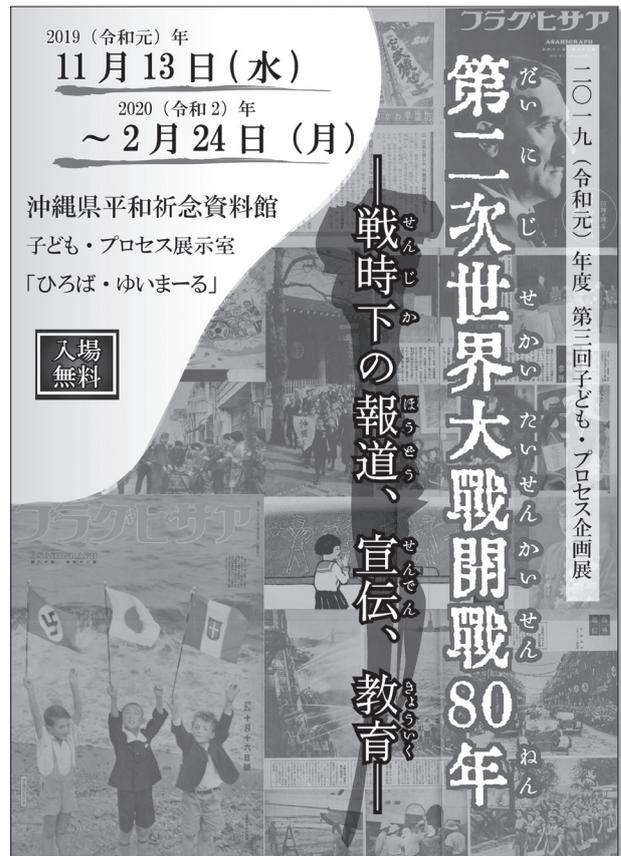
[期 間]

令和元年11月13日（水）
～令和2年2月24日（月）

[内 容]

- ①世界大戦への道
 - ・国際連盟の誕生 ・ファシズムの台頭
- ②第二次世界大戦の概要 [1939～45年]
 - (開戦、戦闘経緯、日本参戦、ホロコースト、終戦)
- ③戦時下の報道、宣伝、教育
- ④平和な世界をめざして

[観覧者数] 23,001人



第4回「沖縄戦の絵 -子どもたちに伝える戦争の記憶-

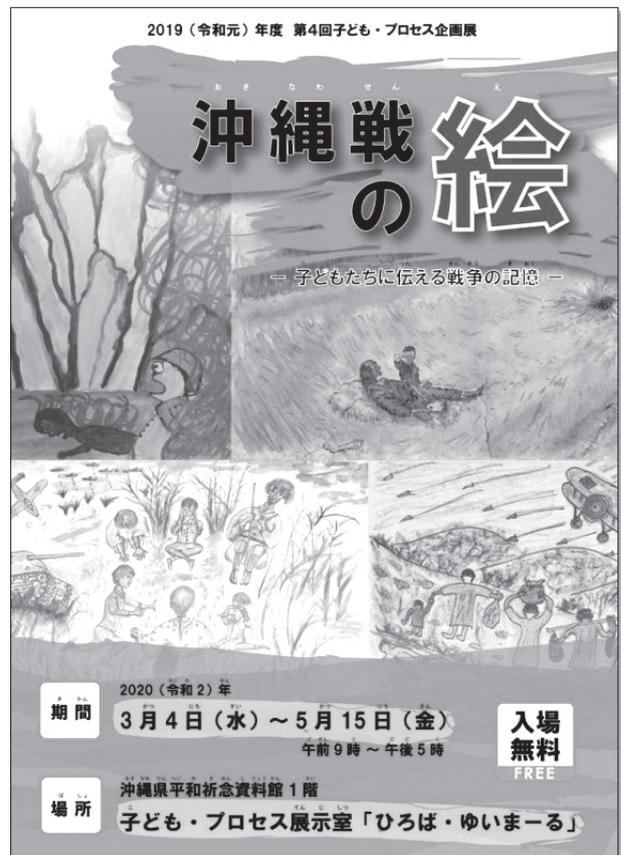
沖縄戦の体験を次の世代に継承していくことを目的に、体験者が描いた絵を展示する。展示する資料は、地獄のような沖縄戦を体験した人びとが、その恐怖の記憶を思い起こし、絵に描いて記録したものである。悲惨な戦争を生きのびた人びとが描いた様々な絵を見て、戦争の実相と平和の尊さについて子どもたちが考える機会とする。

[期 間]

令和2年3月4日（水）～5月15日（金）

[内 容]

- ①沖縄戦前夜
 - ・日本軍の配備 ・南洋諸島の戦い
 - ・学童疎開と対馬丸遭難 ・10・10空襲
- ②鉄の暴風 -戦場になった沖縄の島々-
 - ・アメリカ軍の上陸 ・本島北部、伊江島の戦闘
 - ・本島中部、首里の戦闘 ・本島南部の戦闘
 - ・離島の状況
- ③それぞれの沖縄戦 -体験者の記憶-
 - ・軍人・軍属（日本兵、防衛隊、学徒隊、義勇隊）
 - ・一般住民（避難、追いつめられて、軍隊による住民犠牲、集団死、収容所へ）
- ④戦争体験の継承 [観覧者数] 2,101人



(3) 2019 (令和元) 年度ギャラリー展

第1回 「体験者が描く 沖縄戦の絵」

[期 間] 2019 (令和元) 年7月11日 (木) ~ 9月18日 (水)

戦争を体験した人たちが少なくなっていくなかで、沖縄戦を体験した人たちによって描かれた「沖縄戦の絵」を展示した。つらく悲しい記憶を思い出して描いた絵を通し、悲惨な戦争があったことを改めて知ってもらい、戦争について、平和についてより深く考えてもらう場とした。



第2回 「小さな瞳による紡ぎ、繋ぐ平和への思い」

[期 間] 2019 (令和元) 年10月1日 (火)
~2020 (令和2) 年1月15日 (水)

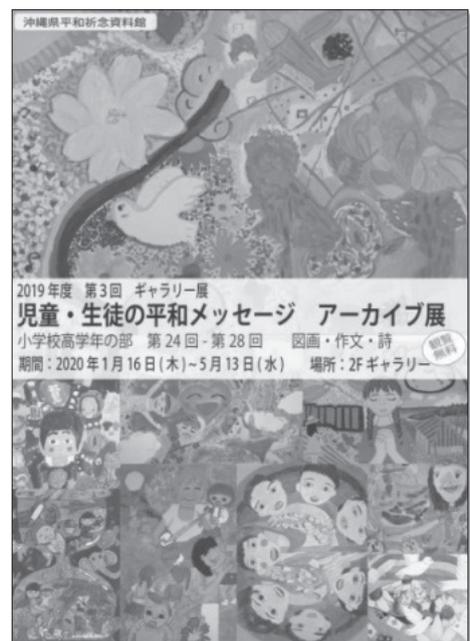
戦後をたくましく生きた当時の子ども達にスポットをあて、戦争体験者が記憶を呼び覚まし、思いを込めて描いた「沖縄戦の絵」とともに、終戦目前、終戦後に、どのような体験をしたのか、またどんな表情をみせているのか米軍記録写真を展示し、子ども達の目線で当時の様子を感じとってもらう場とした。



第3回 「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」

[期 間] 2020 (令和2) 年1月16日 (木)
~ 5月13日 (水)

2020 (令和2) 年度に児童・生徒の平和メッセージが第30回を迎えるということで、今年度1月より過去の最優秀賞作品5年分の展示する。(特別支援の部はそれぞれに振り分ける) 今回は、小学校高学年・特別支援の部の作品を展示した。



Ⅳ 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録（2019(平成31/令和元)年3月1日～2020(令和2)年2月29日）

(1) 実物資料

個人/団体（12名）から12件1,166点の資料寄贈がありました。

No.	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	平成31年4月2日	皿	1	Shesil Mason
2	" 4月6日	砲弾の破片・壺	2	仲里 学
3	" 4月7日	万年筆	1	鈴木 篤
4	令和元年7月10日	写真パネル・スライド・書籍 他	1,131	大田 秀明
5	" 10月15日	軍服	1	久保田 健
6	" 11月15日	温度計	1	大城 藤六
7	" 11月15日	砲弾の破片	1	金城 義秀
8	" 11月15日	ラッパ	1	玉城 廣一 (真栄平自治会長)
9	令和2年1月14日	印鑑・飯盒 他	23	浦崎 敏雄
10	" 1月14日	服	1	花城 久美子
11	" 1月15日	水筒・灰皿	2	又吉隆 夫
12	" 1月29日	死亡届	1	上地 せい子

2 資料貸出実績

(1) 資料の貸出

2019（平成31/令和元）年度は、県内外あわせて計63件、609点の貸出を行いました。

県内 34件 319点

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	那覇市立古蔵小学校	平和学習キットA・B	2	5/12～5/24
2	糸満市立喜屋武小学校	平和学習キットA・C	2	5/16～5/30
3	浦添市立浦西中学校	沖縄戦実物資料（10点） 沖縄戦の写真パネル（1点） 沖縄戦の絵パネル（9点）	20	5/27～6/24
4	県立大平特別支援学校	沖縄戦の絵パネル（17点）	17	5/30～6/30
5	豊見城市立豊見城中学校	平和のウムイ地域版（南部）1セット 平和学習キットB	2	6/1～6/15
6	座間味村立慶留間小中学校	沖縄戦の写真パネル（15点）	15	6/3～6/21
7	コープおきなわ	沖縄戦実物資料（4点）	4	6/3～6/29
8	豊見城市立豊見城小学校	平和学習キットA・C	2	6/3～6/14
9	糸満市立西崎小学校	沖縄戦の写真パネル（15点）	15	6/7～6/23
10	久米島博物館	平和のウムイ地域版（久米島）	1	6/8～6/25
11	浦添市立浦添小学校	平和学習キットB	1	6/8～6/25
12	那覇市立識名小学校	平和学習キットA・C 沖縄戦の絵パネル（20点） 沖縄戦実物資料（20点）	42	6/9～6/22

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
13	県立北山高等学校	平和のウムイ地域版(北部) 沖縄戦実物資料(11点)	12	6/9~6/22
14	西原町立西原南小学校	沖縄戦実物資料(5点) 沖縄戦の絵パネル(3点)	8	6/9~6/26
15	県立宜野座高等学校	沖縄戦実物資料(4点)	4	6/10~7/5
16	沖縄福祉保育専門学校	人権宣言パネル(6点) 平和学習キットD	7	6/10~6/24
17	豊見城市役所	沖縄戦実物資料(5点) 沖縄戦の絵パネル(3点) 平和メッセージ(6点)	14	6/11~6/25
18	県立豊見城南高等学校	沖縄戦実物資料(11点)	11	6/12~7/12
19	糸満市立中央図書館	平和学習キットB	1	6/13~6/26
20	豊見城市立豊見城中学校	平和学習キットA・C	2	6/15~6/29
21	県立美咲特別支援学校	平和学習キットD 沖縄戦の写真パネル(20点)	21	6/15~6/22
22	本部町立博物館	沖縄戦の写真パネル(10点) 平和学習キットA・B(2セット)	12	6/15~7/2
23	那覇市立古蔵小学校	平和学習キットC	1	6/15~6/21
24	県立南部工業高等学校	沖縄戦実物資料(3点) 沖縄戦の写真パネル(1点)	4	6/16~6/17
25	県立沖縄水産高等学校	平和学習キットA	1	6/17~6/28
26	名護市立羽地中学校	平和学習キットB	1	6/17~6/27
27	うるま市立高江洲小学校	平和学習キットB・D	2	6/24~7/5
28	県立豊見城南高等学校	平和学習キットB	1	6/28~7/12
29	Piece Now!Okinawa	平和学習キットB・C	2	8/29~9/12
30	那覇市立小禄小学校	平和学習キットA・B 沖縄戦の写真・絵パネル(19点) 沖縄戦実物資料(20点)	41	11/28~12/16
31	那覇市立小禄小学校	平和学習キットC	1	12/3~12/16
32	座間味村立慶留間小学校	世界人権宣言絵画パネル(20点)	20	12/4~12/13
33	座間味村立慶留間中学校	世界人権宣言絵画パネル(15点)	15	12/4~12/13
34	本願寺沖縄別院	平和学習キットB・C 平和メッセージ(13点)	15	3/17~3/30

県外 29件 290点

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	南島原市立布津中学校	平和学習キットC	1	7/2~7/15
2	(京都府) 城陽市役所	沖縄戦の写真パネル(10点)	10	7/3~7/26
3	(大阪府) LICはびきの	沖縄戦の絵パネル(6点) 沖縄戦実物資料(5点)	11	7/17~7/26
4	(東京都) 港区総務課 人権・男女平等参画課	沖縄戦実物資料(20点)	20	7/19~8/23
5	連合秋田中央地協	沖縄戦の絵パネル(5点) 沖縄戦の写真パネル(15点)	20	7/23~8/2
6	(株)アステム	沖縄戦実物資料(5点)	5	7/25~8/5
7	南島原市立布津中学校	平和学習キットB	1	7/30~8/9
8	奈良市立春日中学校	平和メッセージ(4点)	4	8/1~8/31

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
9	(神奈川県) 厚木市役所	平和学習キットA・B 沖縄戦の絵パネル (5点) 沖縄戦の写真パネル (15点)	22	8 / 2 ~ 8 / 16
10	(東京都) あきる野市役所	沖縄戦の写真パネル (20点) 平和学習キットC	21	8 / 2 ~ 8 / 16
11	東京北法律事務所	平和学習キットB・C	2	8 / 21 ~ 8 / 28
12	多摩大学聖ヶ丘高等学校	平和学習キットB・C	2	9 / 4 ~ 9 / 17
13	埼玉鶴ヶ丘清風高等学校	平和のウムイ地域版 (中部・南部) (2 セット) 沖縄戦実物資料 (8点)	10	9 / 5 ~ 9 / 11
14	大阪茨木市立平田中学校	沖縄戦の写真パネル (15点)	15	9 / 10 ~ 9 / 18
15	すいとんの会; 世田谷区	沖縄戦の写真パネル (10点)	10	9 / 14 ~ 9 / 16
16	京都市立深草中学校	沖縄戦実物資料 (4点)	4	9 / 19 ~ 10 / 3
17	日本キリスト教団美唄協会	沖縄戦の写真パネル (20点)	20	10 / 14 ~ 10 / 24
18	鳥取生協	沖縄戦の写真パネル (8点) 平和メッセージ (5点)	13	10 / 18 ~ 11 / 1
19	埼玉県越谷市役所	平和学習キットB	1	10 / 24 ~ 11 / 6
20	愛知産業大学工業高等学校	平和学習キットB	1	10 / 29 ~ 11 / 12
21	鳥取生協	沖縄戦の写真パネル (8点) 平和メッセージ (5点)	13	11 / 2 ~ 11 / 14
22	群馬県渋川市役所	平和学習キットA・C (2セット) 沖縄戦の絵パネル (11点)	13	11 / 13 ~ 11 / 26
23	入善・朝日平和のための戦争 展実行委員会	平和学習キットA・B	2	11 / 18 ~ 12 / 1
24	関西大学第一中学校	平和学習キットB・C	2	11 / 25 ~ 12 / 7
25	千葉県佐倉市役所	平和学習キットC	1	1 / 17 ~ 1 / 30
26	島根大附属義務教育学校	平和学習キットA・B	2	1 / 29 ~ 2 / 12
27	大阪茨木市立南中学校	平和学習キットB・C 沖縄戦実物資料 (20点)	22	2 / 27 ~ 3 / 12
28	東京千代田区役所地域振興部 国際平和・男女平等人權課	沖縄戦の写真パネル (20点)	20	2 / 28 ~ 3 / 12
29	大阪茨木市立南中学校 ※コロナウイルス対応	平和学習キットB・C 沖縄戦実物資料 (20点)	22	3 / 13 ~ 4 / 20

海外 1件 26点

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	100歩兵大隊 ベテランズ・クラブ	沖縄戦の絵パネル (16点) 児童・生徒の平和メッセージ (10点)	26	8 / 31 ~ 9 / 1 10 / 1 ~ 2 / 26

当館では、以下の資料を貸出している。

沖縄戦写真パネル (201点)、沖縄戦実物資料 (20種類)、子や孫につなぐ平和のウムイ地域版セット、児童・生徒平和メッセージ展入選作品パネル (図画・作文・詩)、世界人権宣言絵画パネル一式、沖縄戦絵パネル (52点)、平和学習キット (4種類)

(2) 証言映像の貸出

2019 (平成31/令和元) 年度貸出実績 20件 54本 (県内9件 25本、県外11件 29本)

戦前体験証言ビデオや収容所生活等の映像資料で、県内外の人々により深く、沖縄戦の実相と

平和の尊さを伝えることを目的に貸し出しを行っている。近年は、県外の学校から、修学旅行の事前学習の教材として利用したいとの申込みが増えている。

貸し出しビデオ・DVD

- ①DVD証言ビデオ28巻（1本に3名の証言、計81名の証言）
 ②DVD『やーさん ひーさん しからーさん ー集団疎開の証言ー』【通常版】【ダイジェスト版】
 ③DVD『そして僕らは生き残った』
 ④DVD『強制集団死（集団自決）に係る証言映像』
 ⑤DVD『平和のウムイ』36巻（1巻10名、計300名の証言）
 ⑥DVD『日系二世が見た戦中・戦後』4巻（計19名の証言）【日本語版】【英語版】
 ※貸出期間は2週間以内、貸出本数は5本以内となっている。

3 撮影・掲載等利用一覧

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	筑波大学人文社会系 准教授 柴田政子	○沖縄戦米軍記録写真0300 ○当館総合案内写真資料・P65-7 ・P76-35 ・P77-39 ・P87-9 国際学会発表論文所収編集本への投稿論文へ掲載	5	3月28日
2	非核・平和をすすめる西東京 市民の会 会長 鈴木治夫	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 配布チラシへの掲載・利用	1	3月28日
3	上原之映	○第27回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞「今は平和といえますか？」 月刊誌の依頼原稿への掲載	1	4月8日
4	沖縄6・23歌と踊りの実行委員会 代表 小林正幸	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 朗読会における朗読へ利用	1	3月30日
5	戦争と平和の資料館 ピースあいち 館長 宮原大輔	○第7回特別企画展図録資料 ・P47「少年や老人の動員」 ・P51「少年護郷隊之碑（名護市）」 ・P51「第二護郷隊之碑（恩納村）」 ○第10回特別企画展図録資料 ・P2「石垣市に残る奉安殿」 ・P13「私たちの一日」 特別展パネルへ複製、展示に利用	5	4月11日
6	みるく世がやゆらを沖縄で歌 う会 代表 山田ちづ子	○第25回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 当日配布プログラムへの掲載・合唱への利用	1	4月10日
7	久米島博物館 館長 山城勇人	○平和のウムイ事業久米島地区セット（DVD11名収録）インタビュー 反訳・パネル・証言集 ○戦争体験証言ビデオ（久米島出身者・7名）インタビュー反訳 町史へ掲載、資料として利用	40	4月5日
8	女声合唱団のあい 代表 野村文子	○第25回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 当日配布プログラムへの掲載・合唱への利用	1	4月19日
9	寺井一通音楽事務所 代表 寺井一通	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 当日配布プログラムへの掲載・合唱への利用	1	4月25日
10	株式会社暮しの手帖社 代表取締役社長 阪東宗文	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 書籍への掲載	1	4月26日
11	琉球新報株式会社 代表取締役社長 玻名城泰山	○当館ホームページ掲載常設展示室案内写真 ・第1室「沖縄戦前夜」 ・第3室「死の彷徨」 ・第3室「ガマでの惨劇」 新聞への掲載	3	5月13日
12	琉球新報株式会社 代表取締役社長 玻名城泰山	○沖縄戦米軍記録写真0233 ○終戦直後の摩文仁周辺の集落の写真 新聞への掲載	2	5月16日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
13	宜野湾市立博物館 館長 千木良芳範	○沖縄戦米軍記録写真0017、0019、0039、0041、0042、0043、0044、0045、0046、0075、0078、0098、0102、0138、0224、0267、0269、0282、0287、0296、0307、0311、0336、0462、0531、0545、0551、0560、0613、0619、0647、0651、0714、0801、写真パネル番号B-018 写真パネル展パネルへの複製・展示への利用	36	5月30日
14	いのち輝け！合唱団 団長 井口美津子	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞「生きる」 プロジェクターでの投影のための複製・合唱への利用	1	5月30日
15	日本放送協会デジタルセンター センター長 草場武彦	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 朗読で放映した番組を再放映するため	1	6月7日
16	読売新聞社 那覇支局 支局長 高橋宏平	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞「本当の幸せ」 新聞への掲載	1	6月7日
17	公益財団法人広島市文化財団 理事長 円奈勝治	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部最優秀賞「へいわってすてきだね」 拡大表示のために複製、読み聞かせのために利用	1	6月3日
18	琉球朝日放送株式会社 代表取締役社長 上原直樹	○台湾沖縄同郷連合会発行「沖縄籍証明書」 テレビ放映	1	6月11日
19	琉球放送株式会社ラジオ局 RBC i ラジオ 編成制作部長 多和田真梨奈	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 最優秀賞受賞作品 ・作文部門 小学校低学年の部 「ぼくがおもったこと」 ・中学校の部 「青空を見せたい」 ・詩部門 中学校の部 「私は今日も憎まれる」 ・高等学校の部 「摩文仁の丘に」 ラジオ放送のため撮影・放映	4	6月7日
20	石垣市立真喜良小学校 校長 仲吉永克	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 受賞作品 ・小学校低学年の部 最優秀賞 「ぼくがおもったこと」 ・小学校高学年の部 優秀賞 「戦争をしなければ」 校長講話での複製・利用	2	6月10日
21	株式会社新泉社 代表取締役 石垣雅設	○沖縄戦米軍記録写真0011、0032、0074、0085、0253、0269、0282 書籍への掲載	7	6月10日
22	琉球放送株式会社 代表取締役社長 中村一彦	○常設展示第1室展示資料 ・「軍機を語るな」のピラ ・「憲兵の腕章」 ・「皇民化教育のパネル」 ・「スパイ取り締まりのパネル」 放映のための展示室パネル、資料撮影	4	6月12日
23	琉球放送株式会社ラジオ局 RBC i ラジオ 編成制作部長 多和田真梨奈	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「もっとへいわなせかいへ」 ラジオ放送のための撮影・放映	1	6月12日
24	那覇市立大名小学校 校長 後藤岳二	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「もっとへいわなせかいへ」 朗読への利用	1	6月11日
25	一般社団法人 共同通信社 那覇支局 支局長 加藤正弘	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞「本当の幸せ」 新聞への掲載ためデータ配信	1	6月12日
26	糸満市立中央図書館 参事監兼館長 神谷和男	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞「本当の幸せ」 展示パネルへの複製・展示に利用	1	6月13日
27	朝日新聞社 那覇総局 那覇総局長 伊東 聖	○過年度の児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 最優秀賞受賞作品〔平和の詩朗読〕 ・第2回中学校の部「永遠に」 ・第4回中学校の部「光がはねて、とてもまぶしい」 ・第12回高等学校の部「未来に向かって」 ・第14回高等学校の部「戦争をしないと決めたこの国で」 ・第16回高等学校の部「若い瞳」 ・第17回中学校の部「写真の中の少年」 ・第18回小学校の部「世界を見つめる目」 ・第25回高等学校の部「みるく世がやゆら」 新聞への掲載	8	6月13日

番号	利用 者 名	資 料 名	点数	申請日
28	朗読の会〈宙〉 代表 大嶋 功	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞 「生きる」 朗読台本への利用	1	6月12日
29	株式会社沖縄タイムス社 代表取締役社長 武富和彦	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 最優秀賞受賞作品 ・詩部門 小学校高学年の部 「本当の幸せ」 ・図画部門 高等学校の部 「慰霊の日の夜明け」 新聞への掲載	2	6月20日
30	毎日新聞那覇支局 支局長 遠藤孝康	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞 「本当の幸せ」 新聞への掲載	1	6月21日
31	糸満市秘書広報課 課長 島根辰也	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞 「本当の幸せ」 市広報紙への掲載	1	6月25日
32	株式会社FMコザ 代表取締役 西銘宣彦	○過年度の児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 最優秀賞受賞作品〔平和の詩朗読〕 ・第23回 小学校低学年の部 「へいわってすてきだね」 ・第28回 中学校の部 「生きる」 ラジオ放送のための放映・利用	2	6月25日
33	株式会社ベストセラーズ 代表取締役社長 塚原浩和	○沖縄戦米軍記録写真0024、0058、0233 書籍への掲載	3	6月27日
34	桶川市長 小野克典	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞 「本当の幸せ」 朗読への利用	1	6月27日
35	子育て応援サークル こっころ 代表 西谷和子	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「へいわってすてきだね」 朗読への利用	1	7月2日
36	NHK沖縄放送局 局長 傍田賢治	○沖縄戦米軍記録写真0140（写真・裏面記載情報） 調査・研究のため撮影・利用	1	7月4日
37	大津町教育委員会 教育長 吉良智恵美	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞 「本当の幸せ」 展示パネルへの複製・展示に利用	1	7月9日
38	NHK沖縄放送局 局長 傍田賢治	○当館所蔵写真「大浦崎収容所」 番組放映のため	1	7月16日
39	一般社団法人茶道裏千家淡交 会沖縄支部 支部長 親泊一郎	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞 「本当の幸せ」 冊子への掲載・朗読への利用	1	7月19日
40	カトリック名古屋教区 平和の集い実行委員会 代表 松浦悟郎	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞 「生きる」 ミサしおりへの掲載	1	7月22日
41	札幌市長 秋元克広	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 「へいわってすてきだね」 拡大表示のために複製、朗読への利用	1	7月22日
42	名護市教育委員会 教育長 岸本敏孝	○当館所蔵写真「大浦崎収容所」 展示パネルへの複製・利用 図録への掲載	1	7月22日
43	はぼろ学講座実行委員会 代表 工藤俊也	○児童・生徒平和メッセージ 作文部門 高等学校の部 受賞作品 ・第28回最優秀賞 「もう一つの家族」 ・第28回優 秀 賞 「平和を感じるために私達がすべき事」 ・第28回優 秀 賞 「魔法の力」 ・第27回優 秀 賞 「今を生きる私たちの務め」 ・第26回最優秀賞 「自分の目で見て」 ・第25回最優秀賞 「平和を築くことの大切さ」 ・第24回最優秀賞 「曾祖父の戦争」 ・第19回優 秀 賞 「戦争と考えること」 朗読への利用	8	8月1日
44	国立歴史民俗博物館 館長 久留島浩	○沖縄戦米軍記録写真0234、0286 展示パネルへの複製・利用 図録への掲載	2	8月6日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
45	全日本年金者組合同分寺支部 支部長 久保 寛	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞 「生きる」 ○「展示むすびのことば」 朗読への利用・勉強会資料（内部資料）への掲載	2	8月8日
46	沖縄県文化観光スポーツ部 交流推進課長 伊田幸司	○第14回特別企画展図録「ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄」P28 掲載の比嘉武二郎氏 ○「パラオ気象台在勤中沖縄郷勇会一同」 写真データをパネル作成のため複製・利用	2	8月8日
47	玉城福子	○当館常設展示室写真 ・外観 ・常設展示第3室ガマ再現内部① ・常設展示第3室ガマ再現内部② ・常設展示第5室Aサインバー① ・常設展示第5室Aサインバー② 学術雑誌への掲載	5	8月5日
48	放送大学 情報部 オンライン教育課長 前川幸春	○常設展示第1室から第5室までの要所 教材制作のため撮影・教材として放映・授業として利用	1	8月1日
49	大阪芸術大学芸術大学 放送学科4年生 望月愛未	○常設展示第4室を中心とした当館の要所 卒業制作のため撮影、学内発表会への利用	1	8月12日
50	伊賀市長 岡本 栄	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 防災無線にて放送（放映）	1	8月15日
51	日本学術振興会 特別研究員PD 秋山かおり	○当館総合案内写真 国際学会発表原稿スライドに利用 ・P82-2 ・P82-3 ・P84-5 ・P86-6 ・P91-1 ・P91-2	6	8月15日
52	NHK沖縄放送局 局長 傍田賢治	○第15回特別企画展「南洋の群星が見た理想郷と戦」図録掲載写真 ・P2 「4. 旧南洋群島地図（日本国委任統治地域）」 ・P70 「29. ガラパン市街図〔複製〕」番組放送のため撮影・放映	2	8月21日
53	新婦人大田支部 朗読サークル 代表 須藤正子	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞「本当の幸せ」 朗読への利用	1	8月23日
54	NHK報道局社会番組部 部長 馬場広大	○沖縄戦米軍記録写真0140 ・常設展示第2室資料・印画紙に現像されたもの（表裏面） 番組作成のための撮影・放映	2	10月1日
55	アジェンダ・プロジェクト 代表 西村敦子	○当館総合案内掲載 ・P61「沖縄戦の戦闘経緯」の地図 ・P65「本島南部の戦闘」の地図 書籍への掲載	2	9月27日
56	うるま市教育委員会 教育長 嘉手苺弘美	○第25回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 合唱への利用	1	9月27日
57	大阪芸術大学芸術大学 放送学科4年生 望月愛未	○常設展示第1～3室、子ども・プロセス展示室を中心とした当館 の要所 卒業制作のため撮影、学内発表会への利用	1	10月17日
58	株式会社NHKエンタープライズ 執行役員 渡辺一巧	○当館所蔵「摩文仁の丘（1945年頃）写真」 放映	1	10月24日
59	朝日放送テレビ株式会社 報道局長 星 信幸	○当館内（常設展示室を含む）における同行取材者の平和学習の様子 撮影・放映	1	10月29日
60	西原町立坂田小学校 校長 金城明美	○第25回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 朗読への利用	1	11月13日
61	呉混声合唱団 代表 神崎文子	○第25回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 パンフレットへの掲載、合唱への利用	1	11月30日
62	サイバー・ネット・コミュニ ケーションズ株式会社 代表取締役 山路 熟	○沖縄戦米軍記録写真0147、0253、0282 ○沖縄戦の絵166-4 ○当館外観写真 教科書準拠学習教材への掲載	5	12月10日
63	株式会社沖縄タイムス社 代表取締役社長 武富和彦	○児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 最優秀賞受賞作品 ・第9回小学校の部「心のたんぼぼ」 ・第16回高等学校の部「若い瞳」 ・第19回小学校高学年の部「平和のいのり」 ・第23回小学校低学年の部「へいわってすてきだね」 朗読への利用	4	12月17日

番号	利用 者 名	資 料 名	点数	申請日
64	株式会社山川出版社 代表取締役 野澤伸平	○沖縄戦米軍記録写真0613 教科書への掲載	1	12月16日
65	株式会社KBC映像 番組制作プロデューサー 福田重和	○沖縄戦米軍記録写真0081 番組での放映	1	12月19日
66	沖縄県立糸満高等学校 校長 島仲利泰	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 図画部門 高等学校の部 最優秀賞「あの日との繋がり」 生徒作品集への掲載	1	12月25日
67	沖縄県知事公室広報課 課長 新城和久	○米軍沖縄戦フィルム194、195 ○当館外観映像 番組での放映	3	1月6日
68	実教出版株式会社 取締役社長 小田良次	○沖縄戦米軍記録写真0032 教科書への掲載	1	1月22日
69	静岡大学教育学部附属島田中学校 校長 色川卓男	○当館内（常設展示室等も含む）における生徒の展示物観覧の様子 撮影・卒業アルバムへの掲載	1	1月22日
70	一般財団法人平和協 理事長 米谷俊朗	○第28回児童・生徒の平和メッセージ最優秀賞受賞作品 ・作文部門 小学校高学年の部「生きる喜び」 ・中学校の部「戦争の終わりを見るまでは」 ・詩部門 小学校低学年の部「てをつなごう」 ・小学校高学年の部「平和の光」 ・中学校の部「生きる」 文集への掲載	5	2月10日
71	株式会社オフィスサンマルサン 代表取締役 常松心平	○カンカラ三線（当館常設展示室・総合案内掲載）写真データ 学校図書館用書籍への掲載	1	2月14日
72	徳島県中学校人権教育研究会 会長 井上一男	○沖縄戦米軍記録写真0613 ○「展示むすびのことば」 教育資料への掲載	2	2月19日
73	筑波大学人文社会系 准教授 柴田政子	○沖縄戦米軍記録写真0300 ○当館総合案内写真資料 ・P65-7 ・P76-35 ・P77-39 ・P87-9 国際学会発表論文所収編集本への投稿論文へ掲載	5	2月21日
74	朝日新聞那覇総局 総局長 伊藤 聖	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞「本当の幸せ」 新聞へ掲載	1	2月25日
75	奈良市九条の会交流会 代表 木村宥子	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 配布チラシへの掲載・利用	1	2月16日
76	琉球新報株式会社 代表取締役社長 玻名城泰山	○当館所有「大浦崎収容所」写真データ 新聞への掲載	1	3月5日
77	座間味村長 宮里 哲	○座間味村関連 沖縄戦証言映像データ 座間味村公共施設における放映に利用	15	3月4日
78	有限会社オフィスアイシーシー 代表取締役 具志頭朝一	○沖縄戦米軍記録写真0032 県発行パンフレットへの掲載	1	3月6日
79	日本放送協会沖縄放送局 局長 傍田賢治	○沖縄戦米軍記録写真0140・常設展示第2室資料・印画紙に現像さ れたもの（表裏面） 番組作成のための撮影・放映	2	3月26日
80	一般社団法人歴史教育者協議会 代表理事 山田 朗	○当館所蔵写真「大浦崎収容所」 書籍への掲載	1	3月26日
81	株式会社北樹出版 代表取締役 木村慎也	○当館外観写真 書籍への掲載	1	3月26日

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第29回「児童・生徒の平和メッセージ」事業

第29回 児童・生徒の
平和メッセージ展

入場無料

糸満市 (沖縄県平和祈念資料館) 開催期間 6/23(日)～7/5(金)	宮古島市 (宮古島市役所) 開催期間 7/30(火)～8/8(木)
※糸満市展示会場は最優秀作品のみ展示	那覇市 (県庁1階県民ホール) 開催期間 8/19(月)～8/23(金)
石垣市 (八重山平和祈念館) 開催期間 7/12(金)～7/21(日)	名護市 (名護市立中央図書館) 開催期間 9/11(水)～9/24(火)

主催 沖縄県 (企画 沖縄県平和祈念資料館) 協賛 沖縄教育委員会 協賛 沖縄県立図書館 沖縄県立中央図書館 電話 098-867-3844

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後74年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために県内児童・生徒が平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。

①応募総数 (2,463点) 図画 995点 作文 371点 詩 1,097点

②令和元年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者
糸満市立兼城小学校6年 山内玲奈 「本当の幸せ」

③展示会

- ・糸満市 (沖縄県平和祈念資料館) 期間：6月23日～7月5日
- ” 10月1日～10月25日
- ” 1月14日～2月25日 (2020年)
- ・石垣市 (八重山平和祈念館) 期間：7月12日～7月21日
- ・宮古島市 (宮古島市役所) 期間：7月30日～8月8日

- ・那覇市（沖縄県庁） 期間：8月19日～8月23日
- ・名護市（名護市立中央図書館） 期間：9月11日～9月24日

④表彰式

- ・2019（令和元）年8月19日（月）11：00～12：00 沖縄県庁 1階県民ホール

⑤入賞作品数（206点）

【小学校低学年の部】 27作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	5	9	17作品
作文	1	1	0	2	4作品
詩	1	2	1	2	6作品

【小学校高学年の部】 56作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	8	16	27作品
作文	1	2	2	5	10作品
詩	1	2	5	11	19作品

【中学校の部】 57作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	8	11	22作品
作文	1	2	5	12	20作品
詩	1	2	5	7	15作品

【高等学校の部】 52作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	6	10	19作品
作文	1	2	5	5	13作品
詩	1	2	4	5	12作品

【特別支援（学校及び学級）の部】 22作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	2	2	7作品
作文	1	2	4	5	12作品
詩	0	1	1	1	3作品

⑥展示会（開会式）の様子



受賞者の記念撮影（平和祈念資料館）



受賞者の記念撮影（八重山平和祈念館）



那覇市展示会開会式（沖縄県庁）



表彰式の様子（沖縄県庁）



名護市展示会開会式（名護市立中央図書館）



受賞者の記念撮影（宮古市役所）



アカナちゃん

(2) 親子ビデオ上映会

① 「子どもの日」ビデオ上映会

沖縄県平和祈念資料館
親子ビデオ上映会

1. せかいいちうつくしいぼくの村 ぼくの村 上映予定時刻 13:30~ (アニメ:17分)	2. 石の声 —沖縄戦マラリア地獄の記憶— 石の声 上映予定時刻 13:49~ (アニメ:24分)	3. 消えさらぬ傷あと—火の海・大阪— 消えさらぬ傷あと—火の海・大阪— 上映予定時刻 14:15~ (アニメ:20分)
4. ピカドン PICA DON 上映予定時刻 14:37~ (アニメ:10分)	5. パパママバイバイ 上映予定時刻 14:50~ (アニメ:75分)	

日時: 2019年5月5日(日)
午後1時30分~4時05分
場所: 沖縄県平和祈念資料館 平和祈念ホール

入場無料

【問い合わせ先】沖縄県平和祈念資料館 電話:098-997-3844

児童福祉週間関連事業の一環として、児童生徒の観覧料無料に合わせて沖縄戦関連のビデオ上映を行い、親子で平和について考える機会とする。

[日 時]
令和元年5月5日(日)
13:30~16:05

- [上映作品]
- 「せかいいちうつくしいぼくの村」(17分)
 - 「石の声 —沖縄戦マラリア地獄の記憶—」(24分)
 - 「消えさらぬ傷あと—火の海・大阪—」(20分)
 - 「ピカドン—PICA DON—」(10分)
 - 「パパママバイバイ」(75分)

[入場者数] 179人

②慰霊の日沖縄戦関連ビデオ上映会

OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL MUSEUM
慰霊の日
じょうえいかい
ビデオ上映会

①「アニメ 対馬丸」 午後1時30分~2時45分	②「ドキュメント沖縄戦」 午後2時47分~3時44分	③「沖縄戦の証言」 午後3時46分~4時21分
-----------------------------	-------------------------------	----------------------------

日時: 令和元年6月23日(日)
午後1時30分~4時21分
場所: 沖縄県平和祈念資料館 祈念ホール(1階)

入場無料

*6月23日は常設展示室の観覧料が免除になります。
また、閉館時間は午後6時まで延長になります。
【お問合せ】沖縄県平和祈念資料館 TEL:098-997-3844

「慰霊の日」関連事業の一環として、観覧料無料に合わせて沖縄戦・人権関係のビデオ上映を行い、平和や人権について考えると同時に、資料館への理解を深めてもらう機会とする。

[日 時]
令和元年6月23日(日)
13:30~16:21

- [上映作品]
- 「アニメ対馬丸—さよなら沖縄—」(75分)
 - 「ドキュメント沖縄戦」(57分)
 - 「沖縄戦の証言」(35分)

[入場者数] 603人

2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話がある。児童・生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、常設展示室の見所などを、要点をおさえて60分程度で説明し、平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっている。



平和講話の様子（2階会議室）

[平成31/令和元年度 平和講話実施状況]

総計141校（147回）〔12,816人〕

- ・小学校107校（108回）〔8,565人〕
- ・中学校21校（23回）〔2,438人〕
- ・高等学校7校（10回）〔1,570人〕
- ・特別支援学校6校（6回）〔243人〕

(2) 離島・遠隔地講師派遣事業

沖縄県内の小中高校で、所在地が離島または遠隔地にあり、当館での平和講話が受講困難な学校に対して、講師が学校に出向き平和講話を行うことができる取り組みを実施している。当館の展示室見学における事前または事後学習として、平和講話を実施している。



平和講話の様子（羽地小学校）

[平成31/令和元年度 離島・遠隔地講師派遣事業実施状況] 総計3校（4回）実施

- ・名護市立羽地小学校（高学年対象）
- ・宮古市立平良第一小学校（低学年/高学年対象）
- ・沖縄県立久米島高等学校（全学年対象・2コマ）

(3) 児童・生徒の職場体験（インターンシップ）

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの生徒・学生を受け入れている。令和元年度は、以下のとおり、中学校及び県立高校、大学から22名の実習生を受け入れた。

[学校名・人数・期間]

- ・沖縄県立沖縄水産高等学校（4名） 7月9日（火）～7月11日（木）
- ・琉球大学（1名） 9月24日（火）～9月27日（金）
- ・沖縄県立南部商業高等学校（4名） 10月15日（火）～10月18日（金）
- ・糸満市立糸満中学校（3名） 10月29日（火）～10月31日（木）
- ・沖縄県立糸満高等学校（2名） 11月13日（水）～11月15日（金）
- ・沖縄県立小禄高等学校（4名） 11月19日（火）～11月21日（木）
- ・沖縄県立那覇西高等学校（2名） 12月10日（火）～12月12日（木）
- ・沖縄県立向陽高等学校（2名） 12月11日（水）～12月13日（金）

[実習内容]

- ・収集資料の分類及び整理
- ・収蔵品の分類及び整理
- ・貸出資料の点検及び整理
- ・展示室の清掃及び管理
- ・アンケートの集計作業
- ・平和講話の準備

- ・展示資料の設置及び片付け等
- ・館内の清掃作業

実習生にとっては、職場体験で働くことを通して平和について幅広く考える機会となり、当館職員にとっては、資料館業務の重要性を再認識し、行政サービスの向上にもつながっている。体験した生徒の皆さんが、自分の個性を発揮し、将来地域に貢献できる人材になることを期待したい。



資料整理作業（新聞の切り抜き）



平和の礎の清掃



展示用パネルの作成



収蔵庫の資料整理

(4) 沖縄少年院連携事業

昨年度より、沖縄少年院の院生を対象にした平和学習の受け入れを始めた。

平和講話や常設展示室観覧、平和の礎や壕などの摩文仁戦跡フィールドワークを通して、沖縄戦を学んだ。

学習を終えた子ども達は、「沖縄という激戦地に生まれ育ち、改めて戦争の恐ろしさをどう伝えていくか考えさせられました。」「鉄の暴風の中、死に物狂いで逃げ、その後も必死に生きてきた先祖たちのおかげで今があることに感謝したいです。」「今の自分は色んな人に迷惑をかけ、悲しませてしまいました。感謝の気持ちと自分にできるのは小さいことだけど平和な世界を作る力になろうと思いました。」と感想を述べ、沖縄戦の実相と自分自身を重ね合わせ、これまでの日々の過ごし方や今後の生き方について考える場となった。

[平成31（令和元）年度 沖縄少年院連携事業実施状況]

- ・総計5回（延べ21人）受け入れ

(5) 大学連携事業

県内大学生を対象に、当館来館による平和学習や、当館職員派遣による出張講話を実施している。

[令和元年度 大学連携事業実施状況]

- ・沖縄大学 吉井ゼミ学生10人

[日 時] 令和元年7月6日（土） 13：30～16：30

[内 容] 平和講話、常設展示室見学、フィールドワーク（平和の礎、健児之塔等）

(6) 博物館学芸員実習

当館では、県内大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸員資格取得のための学芸業務（資料収集・保存活動、展示活動、教育普及活動）全般に係わる研修を実施した。学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供している。

[期 間] 2019(令和元)年8月13日(火)～8月21日(水) ※8月18日～19日を除く(7日間)

[内 容] ①資料整理・分類・登録 ②展示準備・企画展への参加
③野外実習(近隣の戦跡、類似館の見学) ④調査研究
⑤教育普及(平和講話資料作成、プレゼンテーション)

[実習生] 沖縄国際大学3名、大阪国際大学1名

3 講座・講習会・研修会

(1) 県内学校教員向け平和講話等利用案内説明会

沖縄戦の実相と歴史的教訓を後世へ正しく伝え、平和発信に関する当館の取り組みを広く教育現場に周知し、平和学習における連携を深め、児童・生徒に平和を大切にする「沖縄のこころ」を育むことを目的として、毎年、年度当初に県内学校の教員を対象とした説明会を開催している。今年度は初めて、学校現場における事例実践報告を実施した。

[日 時] 2019(平成31)年4月3日(水) 14:30～16:00

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[参 加 者] 県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭等 48名

[内 容] ①沖縄県平和祈念資料館について(設立理念、資料館の概要等について)
②2019(平成31)年度事業紹介(児童・生徒の平和メッセージ展、夏休み子ども企画等)
③平和講話及び離島・遠隔地講師派遣事業について
④平和学習実践事例報告
ア 那覇市立石嶺小学校 6学年主任 新垣清 教諭
イ 沖縄県立美里工業高等学校 国語科 翁長園子 教諭
⑤県内学校向け平和講話予約受付



平和講話等利用案内説明会の様子



児童の成果品展示の様子

(2) 県立学校初任者研修会における講義

県立高等学校及び県立特別支援学校において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] 2019(令和元)年5月9日(木) 15:00～16:00

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[受 講 者] 県立学校初任者 67名

[講 義] 「学校における平和学習・教育に望むもの」

- (3) 島尻教育事務所 中堅教諭等資質向上研修会における講義、館内視察研修
中堅教諭等資質向上研修制度や研修内容等について共通理解を図るとともに、平和教育についての講話や演習を通して実践的指導力の向上に資することをねらいとしている。
[日 時] 2019(令和元)年5月9日(木) 15:00~16:00
[場 所] 島尻教育事務所 第1研修室
[受 講 者] 島尻教育事務所管内 小・中学校教諭 31名
[講 義] 「平和教育における指導の工夫と平和祈念資料館等の活用」
- (4) 幼稚園・認定こども園初任者研修会における講義
幼稚園及び認定こども園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。
[日 時] 2019(令和元)年6月14日(金) 15:00~16:30
[場 所] 沖縄県立総合教育センター多目的研修棟
[受 講 者] 公立・私立幼稚園及び認定こども園初任者 128名
[講 義] 「学校教育における平和教育の意義と必要性について」
- (5) 「島守の塔」慰霊継承新採用職員研修における講義、館内視察研修
県の新採用職員を対象として、「沖縄戦と公務員」をテーマに講義を行った。平和を希求する精神や公務員の原点たる奉仕及び公務遂行の精神を学び、沖縄県職員としての意識の高揚及び能力向上を図ることを主なねらいとしている。講義の後、常設展示室を視察し、沖縄戦の実相と戦時行政について理解を深めた。
[日 時] ①2019(令和元)年6月7日(金) 14:10~15:20
②2019(令和元)年11月8日(金) 14:10~15:20
[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室、常設展示室
[受 講 者] 県新採用職員 ①49名 ②51名 計100名
[講 義] 「戦時行政について」
- (6) 那覇教育事務所 中堅教諭等資質向上研修会における講義、館内視察研修
中堅教諭を対象とする那覇教育事務所主催の研修会において講義を行った。平和教育実践について、児童生徒の理解に基づいた積極的なかわりによる授業のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。
[日 時] 2019(令和元)年7月24日(水) 14:00~16:45
[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室
[受 講 者] 那覇教育事務所管内 小・中学校教諭 11名
[講 義] 「平和教育について」
- (7) 国頭教育事務所 初任者研修における講義
教員の初任者を対象とする国頭教育事務所主催の研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。
[日 時] 2019(令和元)年7月29日(月) 10:40~12:00
[場 所] 名護青少年の家
[受 講 者] 国頭教育事務所管内 小・中学校初任者 37名

〔講 義〕「沖縄県の平和教育について」

(8) 島尻教育事務所 初任者研修における講義

教員の初任者を対象とする島尻教育事務所主催の研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

〔日 時〕 2019（令和元）年7月30日（火） 13：30～16：45

〔場 所〕 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

〔受 講 者〕 島尻教育事務所管内 小・中学校初任者 59名

〔講 義〕 「沖縄県の平和教育について」

(9) 那覇教育事務所 初任者研修における講義

教員の初任者を対象とする那覇教育事務所主催の研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

〔日 時〕 2019（令和元）年7月31日（水） 14：00～15：30

〔場 所〕 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

〔受 講 者〕 那覇教育事務所管内 小・中学校初任者 28名

〔講 義〕 「沖縄県の平和教育について」

(10) 那覇教育研究所 初任者研修における講義

教員の初任者を対象とする那覇教育研究所主催の研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

〔日 時〕 2019（令和元）年8月2日（金） 9：30～11：15

〔場 所〕 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

〔受 講 者〕 那覇教育研究所管内 小・中学校初任者 68名

〔講 義〕 「沖縄県の平和教育について」

(11) 沖縄県平和祈念資料館講習会

県内の旅行・観光等の関係機関において、当館への案内業務に携わる方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に、講習会を毎年開催している。

今年度は2020（令和2）年3月11日（水）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講習会開催を中止した。



前年度の資料館講習会の様子

Ⅵ 広報活動・出版等

○『沖縄県平和祈念資料館 年報 第19号』

2019（平成31／令和元）年度の当館事業の実績報告書に関わる行政資料。入館者の概要、事業内容や活動報告等。A4版74頁、500部を2019（令和元）年8月に発行。

○「沖縄県平和祈念資料館だより」

2019年（平成31／令和元）年度の資料館事業報告や事業計画等について周知させる広報誌。第37号を2019（令和元）年10月、第38号を2020（令和2）年3月にA4版8頁、各2,500部発行。

○2019年（平成31／令和元）年度 特別展「武田美通・鉄の造形全30作品展 戦死者たちからのメッセージ」の周知ポスターを1,000枚、チラシを3,000枚、図録A4版16頁800部を11月に発行。

○「第29回児童・生徒の平和メッセージ事業」

募集チラシを6,000部発行。

○「第29回児童・平和メッセージ事業」

開催告知ポスターを650枚、チラシを5,000枚発行。

○「第29回児童・生徒の平和メッセージ展実施報告書」

展示会の模様、募集事項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等を掲載。A4版90頁、1,000部を3月に発行。



アカナちゃん

Ⅶ その他の事業

1 2019（令和元）年度「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業

(1) 実施目的

沖縄県平和祈念資料館では、近隣アジア諸国の学生を沖縄に招いて、沖縄県内の大学に在籍する大学生5名とともに交流を深めつつ互いの歴史を学び、そこから得られる教訓と平和への思いを次世代に継承し、平和発信者となる人材の育成と近隣アジア諸国との人的ネットワークの基礎を構築することを目的として、令和元年度「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業を実施した。

(2) 実施主体

- ・主催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター（OPAC）

(3) 事業期間

- ・2019（令和元）年8月1日～2020（令和2）年2月28日（日）
- ・沖縄合同宿泊研修：令和元年10月11日～20日

(4) 参加者

	参加国・地域	学習テーマ	参加者数	
			学生	引率・通訳
1	カンボジア	カンボジア大虐殺	5名	1名
2	韓国	濟州島4.3事件	5名	1名
3	台湾	2.28事件	5名	1名
4	ベトナム	ベトナム戦争	5名	2名
5	日本（沖縄県）	沖縄戦	5名	—

注）学生は、大学生・大学院生である。ベトナム以外は、引率者が通訳を務めた。

2 事業成果

事業では、海外からの参加者に沖縄県内在住の大学生5名を加え、沖縄県において2019（令和元）年10月に9泊10日の合同宿泊研修を実施した。研修では、講義のほか、テーマ毎に意見交換をした。その他、ひめゆり平和祈念資料館や伊江島のヌチドゥタカラの家、普天間基地等を視察した。こうした研修を通して、アジア諸国と沖縄の学生が互いの歴史を学習することで戦争等の実相や悲惨な経験を通して得た教訓を学び、戦争体験の継承と平和構築に取り組むために若い世代ができることを考えてもらった。さらに、参加学生は、交流を通して培った絆により平和構築のためのネットワークを形成し、研修終了後も沖縄県を含むアジア地域において、国際的な視野を持ちつつ平和教育活動に取り組んでいくことを確認した。研修最終日には、研修成果報告としてシンポジウムを開催し、共同宣言を発表した。参加した学生からは、「研修を受けて平和や命への感謝の気持ちが強くなるとともに、平和理念の普及の大切さを学んだ」、「それぞれの歴史を学び、語り合い、平和を訴えること自体に大きな歴史的意義があることに気づいた」といった感想があった。



開講式



ひめゆり平和祈念資料館見学



平和の礎見学

Ⅷ 入館者状況

1 月別入館者数

年 月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館 日数	一日平均 入館者数 ※1	入館者 総数 ※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2019年4月	7,224 (346)	1,018 (30)	8,242 (376)	2,473 (290)	17,179 (3194)	19,652 (3,484)	9,697 (636)	18,197 (3,224)	27,894 (3,860)	30	930	37,414
2019年5月	7,479 (282)	971 (169)	8,450 (451)	3,854 (584)	32,795 (6100)	36,649 (6,684)	11,333 (866)	33,766 (6,269)	45,099 (7,135)	31	1,455	54,425
2019年6月	8,361 (2,392)	1,535 (869)	9,896 (3,261)	3,533 (543)	25,633 (5,747)	29,166 (6,290)	11,894 (2,935)	27,168 (6,616)	39,062 (9,551)	30	1,302	53,704
2019年7月	7,223 (262)	1,343 (12)	6,705 (270)	903 (96)	3,569 (1,719)	4,472 (1,815)	8,126 (358)	4,912 (1,731)	13,038 (2,089)	31	421	23,069
2019年8月	9,394 (379)	3,437 (50)	12,831 (429)	773 (43)	717 (23)	1,490 (66)	10,167 (422)	4,154 (73)	14,321 (495)	31	462	24,196
2019年9月	5,519 (132)	665 (51)	6,184 (183)	962 (47)	6,179 (463)	7,141 (510)	6,481 (179)	6,844 (514)	13,325 (693)	29	459	20,586
2019年10月	6,697 (745)	2,736 (2,295)	9,433 (3,040)	3,067 (65)	37,171 (1,010)	40,238 (1075)	9,764 (810)	39,907 (3,305)	49,671 (4,115)	31	1,602	55,482
2019年11月	7,987 (317)	663 (51)	8,650 (368)	4,636 (259)	45,049 (1,769)	49,685 (2,028)	12,623 (576)	45,712 (1,820)	58,335 (2,396)	30	1,945	64,357
2019年12月	6,044 (453)	758 (63)	6,802 (516)	2,899 (209)	29,628 (1,104)	32,527 (1,313)	8,943 (662)	30,386 (1,167)	39,329 (1,829)	28	1,405	45,116
2020年1月	5,883 (210)	609 (23)	6,492 (233)	1,370 (115)	9,067 (407)	10,437 (522)	7,253 (325)	9,676 (430)	16,929 (755)	28	605	24,454
2020年2月	6,298 (187)	729 (16)	7,027 (203)	1,555 (97)	9,527 (69)	11,082 (166)	7,853 (284)	10,256 (85)	18,109 (369)	29	624	25,259
2020年3月	3,258 (119)	1,132 (16)	4,390 (135)	66 (0)	63 (0)	129 (185)	3,324 (119)	1,195 (16)	4,519 (135)	24	188	7,557
合 計	81,367 (5,824)	15,596 (3,645)	96,963 (9,469)	26,091 (2,348)	216,577 (21,605)	242,668 (23,953)	107,458 (8,172)	232,173 (25,250)	339,631 (33,422)	352	965	435,619

() は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有 料 観 覧											計	※無料 観覧者	観覧者 総 数	開館 日 数	平均
	観覧券種別						出身別									
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	県内	県外	外国									
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552				
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074				
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206				
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284				
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263				
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325				
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253				
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228				
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207				
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135				
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116				
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103				
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044				
2013年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046				
2014年度	70,529 (21)	27,000 (8)	10,276 (3)	223,917 (68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026				
2015年度	78,673 (23)	29,449 (9)	12,481 (4)	218,478 (64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037				
2016年度	75,390 (22)	27,261 (8)	12,454 (4)	226,001 (66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046				
2017年度	77,008 (24)	26,842 (8)	13,428 (4)	209,461 (64)	9,329	299,935	17,475	326,739	29,880	356,619	356	1,002				
2018年度	73,156 (23)	26,482 (8)	13,434 (4)	204,277 (64)	7,793	292,491	17,065	317,349	31,274	348,623	349	999				
2019年度	75,543 (25)	23,743 (8)	11,951 (4)	194,972 (64)	5,424	286,333	14,452	306,209	33,422	339,631	352	965				
累計								7,136,775	688,131	7,824,906	6,860	1,141				

参考
慰霊の日無料入館者数

年 度	入館者数	年 度	入館者数	年 度	入館者数
2000年度	4,966	2007年度	3,785	2014年度	3,239
2001年度	3,157	2008年度	4,257	2015年度	4,007
2002年度	4,750	2009年度	4,649	2016年度	3,701
2003年度	4,259	2010年度	5,479	2017年度	3,619
2004年度	4,849	2011年度	3,665	2018年度	3,333
2005年度	3,815	2012年度	3,240	2019年度	2,888
2006年度	2,813	2013年度	3,797	合計	78,268

3 月別県内・県外学校、その他団体見学者（小人）観覧状況

月	児童・生徒・学生												その他 団体見学者 (小人)	合計				
	県内						県外											
	小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校	高等学校	大学	計							
4月	21 (20)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	30 (29)		0 (0)	105 (105)	24 (2)	3 (0)	132 (132)	21 (20)	111 (6)	27 (5)	3 (0)	162 (31)	0 (0)	162 (31)
5月	54 (54)	4 (4)	4 (3)	0 (0)	62 (60)		4 (4)	181 (181)	40 (10)	0 (0)	225 (225)	58 (54)	185 (13)	14 (4)	0 (0)	287 (70)	0 (0)	287 (70)
6月	4,975 (4,975)	532 (481)	423 (395)	0 (0)	5,930 (5,851)		325 (325)	22,974 (22,974)	3,552 (249)	0 (0)	26,861 (26,861)	5,300 (4,975)	23,506 (481)	3,995 (644)	0 (0)	32,791 (6,100)	4 (0)	32,795 (6,100)
7月	36 (36)	14 (13)	9 (9)	2 (0)	61 (58)		5 (5)	76 (76)	53 (2)	5 (0)	139 (139)	41 (36)	90 (14)	62 (11)	7 (0)	200 (61)	16 (9)	216 (70)
8月	2,641 (2,641)	1,896 (1,882)	883 (883)	119 (0)	5,539 (5,406)		229 (229)	10,707 (10,707)	8,479 (54)	155 (155)	19,570 (19,570)	2,870 (2,641)	12,603 (1,888)	9,362 (937)	274 (0)	25,109 (5,466)	506 (281)	25,615 (5,747)
9月	11 (7)	4 (3)	4 (3)	0 (0)	19 (13)		3 (3)	5 (5)	11 (1)	0 (0)	19 (19)	14 (7)	9 (3)	15 (4)	0 (0)	38 (14)	1 (0)	39 (14)
10月	600 (483)	556 (540)	708 (681)	0 (0)	1,864 (1,704)		44 (44)	1,166 (1,166)	1,166 (15)	0 (0)	1,620 (1,620)	644 (483)	966 (540)	1,874 (696)	0 (0)	3,484 (1,719)	85 (0)	3,569 (1,719)
11月	427 (427)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	437 (437)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	427 (427)	166 (10)	5,392 (26)	165 (0)	6,179 (463)	29 (0)	6,179 (463)
12月	9 (9)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	10 (10)		8 (8)	174 (174)	0 (0)	0 (0)	182 (182)	9 (9)	8 (1)	175 (1)	0 (0)	192 (10)	1 (0)	193 (10)
1月	27 (27)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	30 (30)		0 (0)	10 (10)	220 (6)	0 (0)	230 (230)	27 (27)	12 (2)	221 (7)	0 (0)	260 (36)	1 (0)	261 (36)
2月	1,365 (1,355)	242 (242)	10 (10)	0 (0)	1,617 (1,607)		0 (0)	1,496 (1,496)	41,880 (162)	0 (0)	43,376 (43,376)	1,365 (1,355)	1,738 (242)	41,893 (172)	0 (0)	44,993 (1,769)	38 (0)	45,031 (1,769)
3月	12 (12)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	14 (14)		21 (21)	161 (161)	0 (0)	0 (0)	182 (182)	12 (12)	21 (9)	163 (9)	0 (0)	196 (21)	5 (0)	201 (21)
4月	595 (595)	0 (0)	299 (299)	0 (0)	894 (894)		1 (1)	2,326 (2,326)	26,257 (210)	0 (0)	28,584 (28,584)	596 (595)	2,326 (509)	26,556 (509)	0 (0)	29,478 (1,104)	150 (0)	29,628 (1,104)
5月	4 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	6 (6)		2 (2)	47 (47)	3 (3)	3 (0)	53 (53)	5 (4)	3 (2)	48 (2)	3 (0)	59 (6)	1 (0)	60 (6)
6月	332 (332)	212 (212)	23 (23)	0 (0)	567 (567)		21 (21)	170 (170)	8,197 (75)	72 (72)	8,460 (8,460)	353 (332)	382 (75)	8,220 (75)	72 (0)	9,027 (407)	40 (0)	9,067 (407)
7月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)		2 (2)	10 (10)	50 (3)	2 (2)	64 (64)	2 (0)	10 (3)	50 (3)	3 (0)	65 (3)	0 (0)	65 (3)
8月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	21 (21)		69 (69)	1,239 (1,239)	8,072 (69)	126 (126)	9,506 (9,506)	69 (69)	1,239 (69)	8,072 (69)	147 (0)	9,527 (69)	0 (0)	9,527 (69)
9月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)
10月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		14 (14)	0 (0)	49 (49)	0 (0)	63 (63)	14 (14)	0 (0)	49 (49)	0 (0)	63 (63)	0 (0)	63 (63)
11月	184 (175)	35 (29)	26 (22)	4 (0)	249 (226)		16 (16)	421 (421)	811 (35)	18 (18)	1,266 (1,266)	200 (175)	456 (30)	837 (57)	22 (0)	1,547 (262)	32 (9)	1,579 (271)
12月	13,646 (13,274)	4,248 (3,899)	3,307 (3,209)	171 (0)	21,372 (20,382)		707 (707)	51,761 (51,761)	140,498 (936)	729 (729)	193,695 (193,695)	14,353 (13,274)	56,009 (3,905)	143,805 (4,145)	900 (0)	215,067 (21,324)	1,230 (281)	216,297 (21,605)

() は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 那覇市	35	3,199	6	863	4	328	2	128	47	4,518	31	1,532	78	6,050
2 うるま市	10	914	2	310	6	781	0	0	18	2,005	5	303	23	2,308
3 宜野湾市	5	626	1	204	0	0	0	0	6	830	4	240	10	1,070
4 宮古島市	11	535	1	7	0	0	0	0	12	542	0	60	12	602
5 石垣市	11	552	0	0	0	0	0	0	11	552	0	56	11	608
6 浦添市	12	1,315	2	359	2	300	0	0	16	1,974	7	718	23	2,692
7 名護市	9	582	3	121	0	0	0	0	12	703	2	159	14	862
8 糸満市	11	850	3	159	4	605	0	0	18	1,614	2	181	20	1,795
9 沖縄市	10	1,079	4	648	2	448	0	0	16	2,175	14	558	30	2,733
10 豊見城市	9	877	1	254	0	0	0	0	10	1,131	1	81	11	1,212
11 南城市	8	505	1	142	0	0	0	0	9	647	1	61	10	708
12 国頭村	2	39	0	0	0	0	0	0	2	39	0	6	2	45
13 大宜味村	1	22	0	0	1	42	0	0	2	64	0	8	2	72
14 東村	1	7	1	48	0	0	0	0	2	55	0	13	2	68
15 今帰仁村	2	77	0	0	0	0	0	0	2	77	1	39	3	116
16 本部町	2	98	1	14	1	33	0	0	4	145	0	25	4	170
17 恩納村	4	98	0	0	0	0	0	0	4	98	1	43	5	141
18 宜野座村	3	86	0	0	0	0	0	0	3	86	1	76	4	162
19 金武町	2	110	0	0	0	0	0	0	2	110	0	12	2	122
20 伊江村	2	36	0	0	0	0	0	0	2	36	0	7	2	43
21 読谷村	1	87	1	51	1	319	0	0	3	457	0	26	3	483
22 嘉手納町	2	78	1	212	2	225	0	0	5	515	8	267	13	782
23 北谷町	3	278	0	0	0	0	0	0	3	278	5	139	8	417
24 北中城村	2	192	2	203	1	31	0	0	5	426	1	64	6	490
25 中城村	1	36	1	144	0	0	0	0	2	180	1	41	3	221
26 西原町	4	373	1	151	0	0	2	43	7	567	0	32	7	599
27 八重瀬町	4	184	1	70	1	130	0	0	6	384	2	173	8	557
28 与那原町	3	259	0	0	0	0	0	0	3	259	1	38	4	297
29 南風原町	5	410	2	288	1	65	0	0	8	763	2	159	10	922
30 久米島町	3	66	0	0	0	0	0	0	3	66	0	12	3	78
31 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 粟国村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 南大東村	1	20	0	0	0	0	0	0	1	20	0	4	1	24
36 北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 多良間村	1	9	0	0	0	0	0	0	1	9	0	3	1	12
40 竹富町	2	33	0	0	0	0	0	0	2	33	0	11	2	44
41 与那国町	2	14	0	0	0	0	0	0	2	14	0	7	2	21
合計	184	13,646	35	4,248	26	3,307	4	171	249	21,372	90	5,154	339	26,526

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる小人、修学旅行・小人の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総 計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	1	21	0	0	16	2,151	1	40	18	2,212	8	349	26	2,561
2 青森県	0	0	0	0	3	262	0	0	3	262	3	127	6	389
3 岩手県	0	0	0	0	3	119	0	0	3	119	1	36	4	155
4 宮城県	1	12	0	0	7	498	0	0	8	510	4	169	12	679
5 秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 山形県	0	0	3	298	2	154	0	0	5	452	0	30	5	482
7 福島県	0	0	1	32	12	1,381	0	0	13	1,413	3	180	16	1,593
8 茨城県	0	0	0	0	32	5,133	0	0	32	5,133	6	525	38	5,658
9 栃木県	0	0	0	0	30	5,750	0	0	30	5,750	0	357	30	6,107
10 群馬県	0	0	0	0	19	2,807	0	0	19	2,807	2	229	21	3,036
11 埼玉県	0	0	1	80	101	22,104	1	35	103	22,219	4	1,547	107	23,766
12 千葉県	2	36	0	0	53	11,600	3	76	58	11,712	2	745	60	12,457
13 東京都	1	88	14	1,890	155	26,470	7	290	177	28,738	54	3,662	231	32,400
14 神奈川県	1	11	9	1,144	85	19,736	0	0	95	20,891	6	1,195	101	22,086
15 新潟県	0	0	0	0	11	1,130	0	0	11	1,130	2	123	13	1,253
16 富山県	0	0	1	159	1	34	0	0	2	193	2	66	4	259
17 石川県	0	0	0	0	2	280	0	0	2	280	2	85	4	365
18 福井県	0	0	0	0	5	1,074	0	0	5	1,074	2	106	7	1,180
19 山梨県	0	0	0	0	23	3,187	0	0	23	3,187	1	253	24	3,440
20 長野県	0	0	0	0	30	4,729	0	0	30	4,729	0	247	30	4,976
21 岐阜県	0	0	1	158	44	6,493	0	0	45	6,651	3	503	48	7,154
22 静岡県	0	0	1	118	53	6,463	2	57	56	6,638	4	617	60	7,255
23 愛知県	0	0	11	1,815	48	8,031	3	180	62	10,026	5	758	67	10,784
24 三重県	0	0	11	1,159	11	2,282	1	51	23	3,492	1	283	24	3,775
25 滋賀県	0	0	25	3,147	4	544	0	0	29	3,691	1	314	30	4,005
26 京都府	2	55	31	4,172	7	877	0	0	40	5,104	3	644	43	5,748
27 大阪府	0	0	85	12,306	9	1,595	0	0	94	13,901	12	1,577	106	15,478
28 兵庫県	3	107	59	8,598	10	2,156	0	0	72	10,861	8	1,007	80	11,868
29 奈良県	0	1	23	2,651	1	116	0	0	24	2,768	1	250	25	3,018
30 和歌山県	0	0	1	83	2	40	0	0	3	123	1	60	4	183
31 鳥取県	0	0	7	452	0	0	0	0	7	452	1	72	8	524
32 島根県	0	0	2	175	2	144	0	0	4	319	0	27	4	346
33 岡山県	1	178	61	5,521	4	119	0	0	66	5,818	8	1,006	74	6,824
34 広島県	0	0	12	767	9	1,327	0	0	21	2,094	1	169	22	2,263
35 山口県	0	0	0	0	1	23	0	0	1	23	3	125	4	148
36 徳島県	0	0	5	612	0	0	0	0	5	612	0	52	5	664
37 香川県	0	0	20	3,398	1	217	0	0	21	3,615	1	279	22	3,894
38 愛媛県	0	0	0	0	3	161	0	0	3	161	2	62	5	223
39 高知県	0	0	9	479	0	0	0	0	9	479	2	96	11	575
40 福岡県	1	14	6	934	9	1,211	0	0	16	2,159	14	1,479	30	3,638
41 佐賀県	0	0	2	41	0	0	0	0	2	41	0	8	2	49
42 長崎県	0	0	2	64	0	0	0	0	2	64	4	141	6	205
43 熊本県	0	0	14	1,271	0	0	0	0	14	1,271	4	191	18	1,462
44 大分県	0	0	0	0	1	24	0	0	1	24	2	89	3	113
45 宮崎県	0	4	1	107	1	49	0	0	2	160	4	151	6	311
46 鹿児島県	3	180	3	130	0	0	0	0	6	310	1	63	7	373
合計	16	707	421	51,761	810	140,471	18	729	1,265	193,668	188	20,054	1,453	213,722
47 沖縄県	184	13,646	35	4,248	26	3,307	4	171	249	21,372	90	5,154	339	26,526

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる小人、修学旅行・小人の団体の引率等です。

IX 八重山平和祈念館

1 概 要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成を目指す。

(1) 設立経過

1989年 (平成元)	5月28日	戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
	10月16日	沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」が決議される。
1995年 (平成7)	4月25日	与党戦後50年問題プロジェクトチームで、八重山地域を対象とする慰藉事業の実施で合意。
	12月25日	平成8年度国庫予算において、マラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。 慰藉事業の内訳 ①慰霊碑建立 ②八重山平和祈念館建設 ③マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂事業 ④マラリア死没者慰藉のための追悼事業
1997年 (平成9)	3月31日	建物竣工
1998年 (平成10)	1月27日	八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月17日まで 計3回）
	5月	八重山平和祈念館基本計画策定
	11月20日	八重山平和祈念館監修委員会開催（翌年2月22日まで 計3回） 八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注（平成11年3月まで）
1999年 (平成11)	3月	「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。
	5月28日	八重山平和祈念館開館式典
	5月29日	八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 延べ面積：520㎡
- ② 各室面積

第1展示室	：130㎡
第2展示室	：120㎡
保管室	：20㎡
図書室	：30㎡
会議室	：45㎡
事務室	：30㎡



八重山平和祈念館外観

(3) 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

(5) 観覧料

	通常料金	団体料金 (※団体は20名以上)
大人	100円	70円
小人 (小学～大学生)	50円	35円

(6) 常設展の展示構成

- ①アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ②沖縄戦と八重山
- ③戦争マラリアの悲劇
- ④マラリア根絶に向かって
- ⑤戦争マラリア援護会の活動
- ⑥八重山地域における平和発信拠点を目標して

(7) 展示の内容

- ①写真、地図、絵のパネル等
- ②戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）

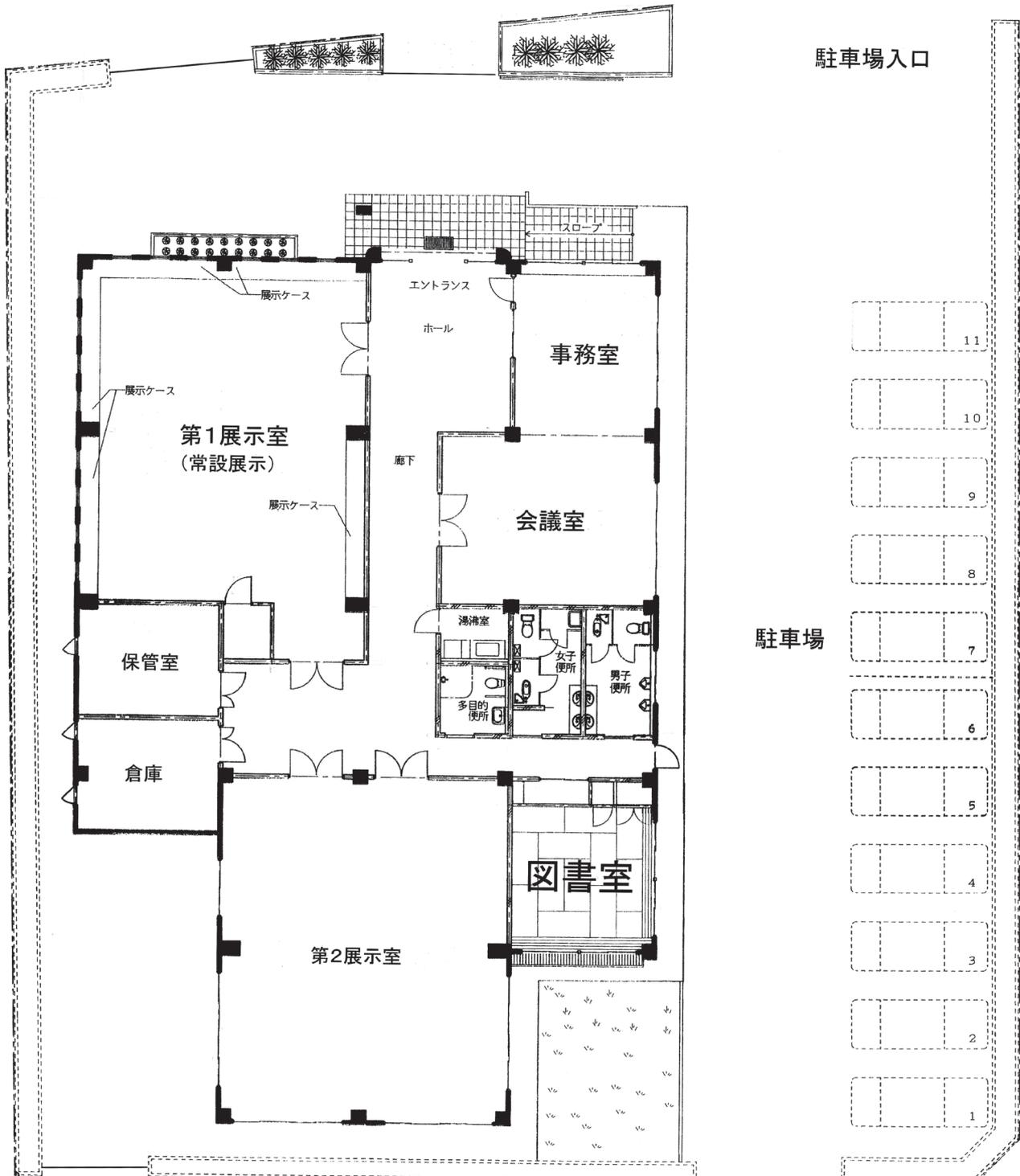


うりずんの季節には、色とりどりの花が通る人の目を楽しませ
当館の来館者を出迎えてくれます

地域の婦人会（新栄町婦人会）の方々による念入りな花壇の手入れにより
石垣市婦人連合会主催「花と緑あふれる地域コンクール」にて
6年連続「最優秀賞」を受賞いたしました。

2 施設

平面図



I 概

要

II 事 調 査 研 究 業

III 事 展 示 企 画 業

IV 資 料 収 集 活 用 事 業

V 事 教 育 普 及

VI 出 報 活 動 等

VII 事 其 他 の 業

VIII 入 館 者 状 況

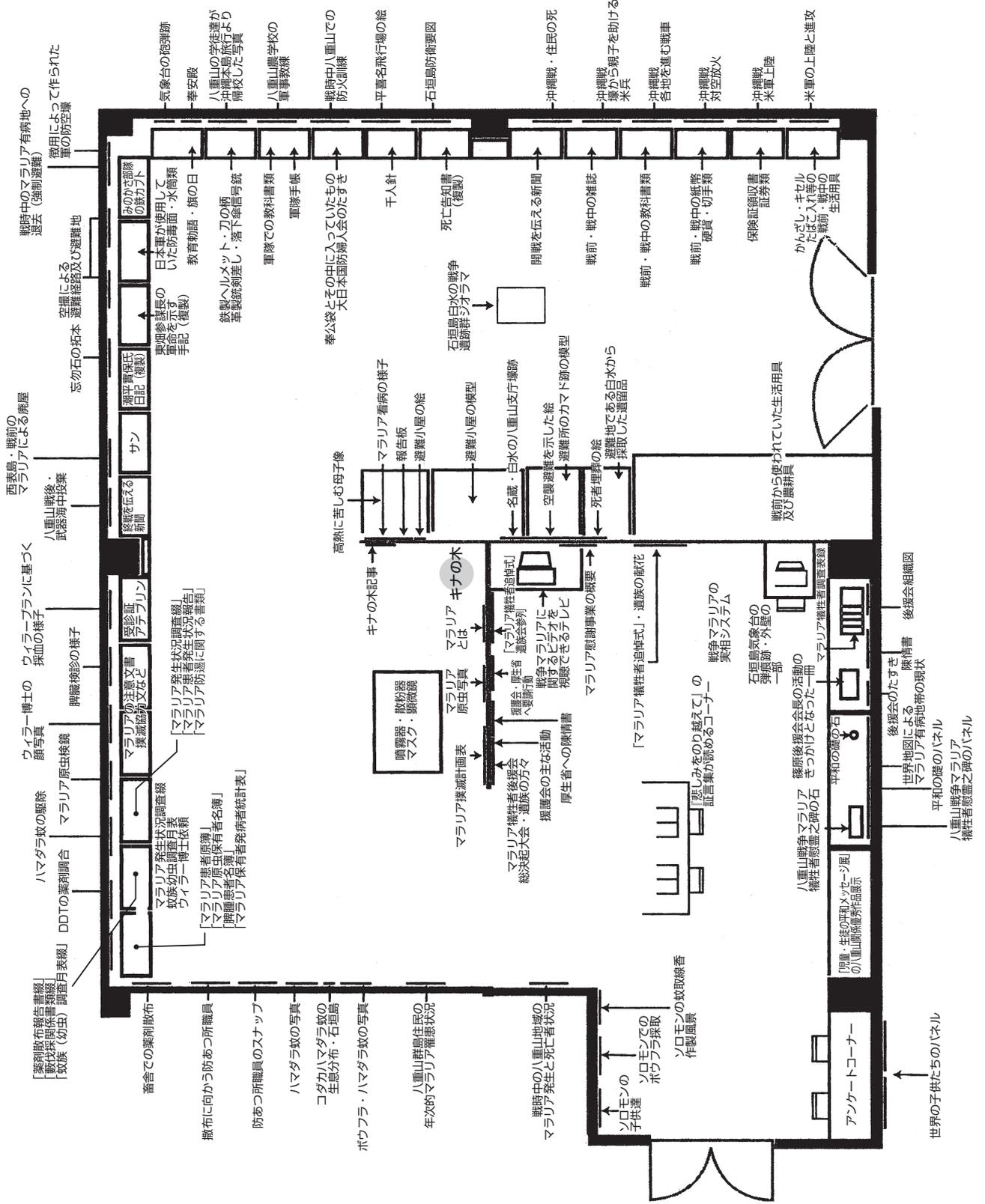
IX 八 重 山 平 和 祈 念 館

X 友 活 動 の 報 告 会

XI 規 則 ・ 要 例

XII 入 館 度 状 況 別

第1展示室



3 事業概要

(1) 展示活動

① 「八重山の戦跡～たどる島の記憶～」

八重山地域の忠魂碑・慰霊碑・戦争遺跡を紹介し、戦争マラリア体験者の証言を展示した。

また、平和に関する地域の活動の紹介や、クイズコーナーの設置、戦争体験者の証言映像を上映した。

6月は、各学校で平和学習が活発に行われる時期であったため、多くの地元の学生が来館した。

【期 間】令和元年6月1日(土)～6月30日(日)

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】1,115人



企画展を観覧する子どもたち

② 「開館20周年記念企画展第1弾 八重山平和祈念館20年のあゆみ」

平成11年の開館から20周年を迎えた今年、20周年記念企画展を開催した。

企画展第1弾は、戦争マラリア犠牲者遺族の活動から祈念館が設立し、現在に至るまでを年表、新聞記事、資料等で振り返った。

関係機関、関係者の方々が来館し、当館の歴史やこれまでの活動内容等を観覧した。

【期 間】令和元年11月22日(金)～12月13日(金)

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】325人



20周年を祝うテープカット

③ 「開館20周年記念企画展第2弾 第4回 収蔵品展」

開館20周年企画展の第2弾として、これまで八重山平和祈念館に寄贈された収蔵品を中心に、戦中・戦後の人々の生活の様子を紹介した。あわせて、地域の戦争体験者から聞き取りした貴重な体験証言を展示し、戦時中の様子を伝えた。

【期 間】令和元年12月20日(金)

～令和2年1月26日(日)

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】261人



寄贈品展示の様子

(2) 平和教育活動

① 慰霊の日アニメビデオ上映会

6月23日の慰霊の日に、戦争に関するアニメや戦争体験者の証言映像の上映会を実施した。

当日は、1日をとおして多くの方々が来館し、映像と展示物を観覧した。

【期 間】令和元年6月23日（日）

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室



上映ビデオを見る子どもたち

② 「児童・生徒の平和メッセージ展」

石垣市会場では、八重山地区の入選作品を含む多くの作品の展示を行った。

展示会場には、地域の児童生徒や入選者のご父兄等が訪れ、熱心に作品を観覧した。

【期 間】令和元年7月12日（金）

～7月21日（日）

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】178人



受賞者の記念撮影

③ 夏休みこども向け企画

夏休みの学習の場として、今年も子ども向け企画を実施した。

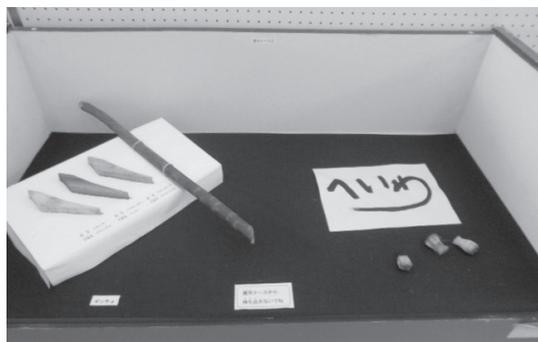
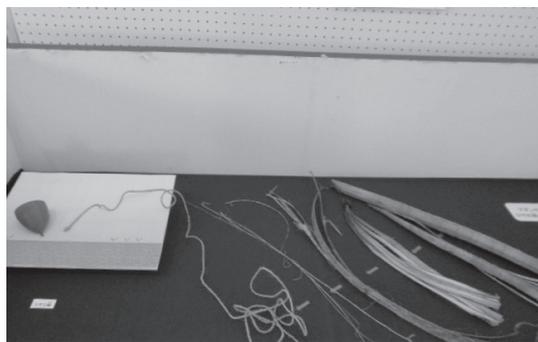
今回は、八重山の戦争に関する調べ学習支援の一環として当館で制作したワークシートを配布した。

また、戦中・戦後の遊び道具の展示やわらべ歌を紹介し、当時の子どもたちの遊びを紹介した。

【期 間】令和元年8月3日（土）～9月8日（日）

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】434人



昔の子どもの遊び道具（ギッキョ）とアダン葉を再現し展示
手作りの駒・紐はアダンの木根（左写真）、アダン筆（右写真）

(3) 調査研究活動

戦争体験者の証言収集

出身地	生まれ年	氏名
石垣市	大正10年	ほりやすえ 保里安枝さん
石垣市	大正13年	たもとひろし 田本浩さん
石垣市	昭和8年	いりおもてふみ 西表章さん
竹富町(西表)	昭和15年	とまいひろむ 戸眞伊擴さん



保里安枝さん



田本浩さん



西表章さん



戸眞伊擴さん

I 概

要

II 調査研究

III 展示企画

IV 資料収集・活用事業

V 教育普及

VI 出版活動等

VII その他

VIII 入館者状況

IX 八重山平和祈念館

X 友の会活動報告

XI 関係条例・規則・要綱

XII 入館年度別状況

4 2019 (平成31 / 令和元) 年度 月別入館者数

八重山平和祈念館

	常設展示室 (第1展示室)									第2展示室
	個人入館者数			団体入館者数			入館者総数			企画展等入館者数 ※入場無料
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計	
平成31年 4月	119 (7)	19 (9)	138 (16)	5 (0)	50 (0)	55 (0)	124 (7)	69 (9)	193 (16)	
令和元年 5月	157 (30)	8 (5)	165 (35)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	157 (30)	8 (5)	165 (35)	
6月	311 (111)	160 (137)	471 (248)	44 (44)	512 (512)	556 (556)	355 (155)	672 (649)	1,027 (804)	企画展「八重山の戦跡」 1,115人
7月	154 (10)	73 (30)	227 (40)	14 (14)	38 (38)	52 (52)	168 (24)	111 (68)	279 (92)	メッセージ展178人
8月	234 (5)	116 (8)	350 (13)	2 (2)	18 (18)	20 (20)	236 (7)	134 (26)	370 (33)	
9月	144 (3)	13 (2)	157 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	144 (3)	13 (2)	157 (5)	夏休み企画434人
10月	180 (31)	3 (2)	183 (33)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	180 (31)	3 (2)	183 (33)	
11月	204 (40)	13 (11)	217 (51)	45 (5)	257 (0)	302 (5)	249 (45)	270 (11)	519 (56)	
12月	171 (18)	18 (5)	189 (23)	44 (8)	162 (0)	206 (8)	215 (26)	180 (5)	395 (31)	開館20周年企画展「20 周年のあゆみ」325人
令和2年 1月	172 (20)	4 (0)	176 (20)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	172 (20)	4 (0)	176 (20)	開館20周年企画展「収 蔵品展」261人
2月	178 (16)	8 (1)	186 (17)	21 (10)	352 (0)	373 (10)	199 (26)	360 (1)	559 (27)	
3月	160 (3)	13 (0)	173 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	160 (3)	13 (0)	173 (3)	
合計	2,184 (294)	448 (210)	2,632 (504)	175 (83)	1,389 (568)	1,564 (651)	2,359 (377)	1,837 (778)	4,196 (1,155)	0

() は内数で無料入場者数

X 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他



平和講話の講師の皆さん
(写真提供：南城市立大里中学校)

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614番地の1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします。
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

内 容	協 力 金
県内学校及び地域における学習支援	1回につき 5,000円
平和講話	1回につき 15,000円
ポイントガイド	1回につき 5,000～7,000円（時間により変動）
バス乗車	1回につき 10,000円
その他	要相談

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 2019（平成31 / 令和元）年度講話・ガイド活動実績件数

◎2019（平成31 / 令和元）年4月～2020（令和2）年3月までの活動状況

団 体	団体件数	実施人数	派遣講師
高 等 学 校	68（県内5）	12,090	81
中 学 校	47（県内8）	6,571	47
小 学 校	18（県内17）	9,918	18
そ の 他	57（県内19）	1,830	57
計	190（県内49）	30,409	190

※新型コロナウイルス感染拡大防止によるキャンセル件数 計5件

5 2019（平成31 / 令和元）年度活動内容

- (1) 常設展示室解説員 配置実績70人
- (2) 協力事業：2019（令和元）年5月3日（金）「平和祈念財団」鯉のぼり掲揚式への協力
通年 平和祈念財団・平和祈念公園愛護活動への協力
- (3) 令和元年度友の会総会：2019（令和元）年5月18日（土）
- (4) 学習会1：2019（平成31）年4月13日（土）
平和学習ウォーク
「安里から首里への道」



平和学習ウォークの様子
(講師・仲村真氏 翁長安子氏 吉嶺全一氏)

- 学習会2：2019（令和元）年10月12日（土）
沖縄県平和祈念資料館
「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業
講師・仲村真氏
 - 学習会3：2019（令和元）年10月19日（土）
沖縄県平和祈念資料館
「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業報告会
 - 学習会4：2020（令和2）年2月16日（日）
平和学習会
「引揚げ船撃沈、南洋トラック島での悲劇」
講師・上江洲清氏 仲村真氏
- (5) 平和講話及びガイド、マスコミ等取材対応

Ⅺ 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。

- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

第11条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

第12条 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

第13条 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

第14条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

第15条 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

第16条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するもので

あること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

第17条 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

第18条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

第19条 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

第21条 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成31年3月29日一部改正（令和元年10月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分	単 位	使 用 料	
平和祈念資料館 (分館を除く)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,540円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- ホールを練習、準備のため専用して使用する場合は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

- 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

- (2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで
- (3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで
- (4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

- (1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合
- (2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合
- (3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合
- (4) 身体障害者福祉法（昭和24法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合
- (5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合
- (6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合
- (7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式、以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出し

なければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

第10条 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。

3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。

- (1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。
- (2) 国又は地方公共団体が使用するとき。
- (3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

第11条 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

- (1) 天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。 当該使用料の全額
 - (2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割。
 - (3) 使用者が、ホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割。
- 2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

第12条 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

- (1) 沖縄県が使用するとき。 免除
 - (2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。 免除
 - (3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合
- 2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書（第9号様式）を知事に提出しなければならない。
- 3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書（第10号様式）を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合わせ〕

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

第14条 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
- (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
- (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
- (4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

第15条 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
- (2) 騒音又は大声を発生し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
- (4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布
- (5) 許可された場所以外の場所への立入り
- (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
- (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
- (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第11号様式）又は資料寄託申請書（第12号様式）を提出しなければならない。
- 3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第13号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第20条 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第21条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めたときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。

3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書(第16号様式)によるものとする。

2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

- (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）
- (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- (5) 役員の名、住所及び履歴を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第29条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）、令和元年9月13日一部改正（令和元年10月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種 別	品 目	単 位	使 用 料		
ホ ー ル	舞台器具	演台	1台	300円	
		司会者卓	1台	150円	
		花台	1台	100円	
		金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円	
		ワイヤレスマイク	1本	450円	
		カセットテープレコーダー	1台	300円	
		CDプレーヤー	1台	500円	
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円	
		レーザーディスクプレーヤー	1台	500円	
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円	
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円	
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円	
		アッパーホリゾントライト（150W×60灯）	1列	360円	
		ロアーホリゾントライト（150W×60灯）	1列	300円	
		フットライト（60W×48灯）	1列	100円	
		フォロースポットライト（1KW）	1式	100円	
	その他	映写機16mm	1台	1,260円	
		スライドプロジェクター	1台	520円	
	会議室	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
			ワイヤレスマイク	1本	450円
カセットテープレコーダー			1台	300円	
CDプレーヤー			1台	400円	
ビデオデッキ（VHS）			1台	400円	
その他		ビデオプロジェクター	1台	1,260円	
		オーバーヘッドプロジェクター	1台	520円	
展示室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円	
		展示ケース（小）	1台	500円	

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区 分	単 位	使 用 料	
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホ ー ル	1時間につき	2,120円
	展 示 室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補 則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項

(目的)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館(以下「資料館」という。)の所蔵する資料(以下「貸出資料」という。)の館外貸出しを許可するにあたって必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項において、貸出資料とは沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオをいう。各資料の内容については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料とは、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則(以下「規則」という。)第22条で定める資料であり、実物資料20種類をいう(別紙1)。
- (2) 沖縄戦写真パネルとは、写真の複製パネルをいう(別紙2)。
- (3) 沖縄戦の絵パネルとは、日本放送協会から寄贈された沖縄戦体験者が描いた絵の複製パネルをいう(別紙3)。
- (4) 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネルとは、資料館が毎年主催している児童・生徒の平和メッセージ展の作文、詩及び図画部門において最優秀賞及び優秀賞として入賞した作品をいう。
- (5) 世界人権宣言絵画パネルとは、当館が制作した世界人権宣言に関する絵画パネルをいう(別紙4)。
- (6) 平和のウムイ地域版セットとは、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により制作したDVD及びパネル、証言集をいう(別紙5)。
- (7) 平和学習キットとは、学校等で活用される平和学習の教材としての貸し出しキットの複製資料及びパネル、絵本、紙芝居をいう(別紙6)。
- (8) 戦争体験証言ビデオとは、沖縄戦体験者の証言を収録し複製したビデオ及びDVD、集団疎開及び捕虜収容所での様子を収録し複製したビデオ及びDVD、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により証言を収録し複製したDVDをいう。

(貸出許可の申請)

第3条 資料の館外貸出しの許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、資料貸出申請書により、沖縄県平和祈念資料館長(以下「資料館長」という。)に申請しなければならない。申請書の様式については、次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第22条に定める資料貸出申請書(第14号様式)
 - (2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル 沖縄県平和祈念資料館資料貸出申請書(第1号様式)
 - (3) 平和のウムイ資料 平和のウムイ資料貸出申請書(第2号様式)
 - (4) 平和学習キット 平和学習キット貸出申請書(第3号様式)
 - (5) 戦争体験証言ビデオ 戦争体験証言ビデオ貸出申請書(第4号様式)
- 2 申請者は、貸出日の2週間前までに資料貸出申請書を提出しなければならない。
 - 3 申請者は、申請の際に身元確実な保証人がいなければならない。ただし、申請者が地方公共団体等の代表者である場合にはその限りではない。
 - 4 申請者は、あらかじめFAXで申請を行い、後日原本を送付するものとする。

(貸出の許可)

第4条 資料の貸出は、資料館が適切と認める公共団体及び任意団体が、沖縄戦の実相又は教訓を伝え、平和の発信に資する学習又は展示活動等で使用することに対して許可する。

- 2 戦争体験証言ビデオについては、個人が沖縄戦に関する学習を目的に申請する場合には、許可することができる。

(許可証の交付)

第5条 資料館長は、申請を受けて資料の貸出を許可したときには、申請者に対し、貸出許可証を交付する。許可証については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第23条の資料貸出許可証 (第15号様式)
- (2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオ 沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証 (第5号様式)

2 前項の許可証には条件を付することができる。

(貸出期間)

第6条 館外への貸出期間は、平和のウムイ地域版セット及び平和学習キット、戦争体験証言ビデオについては最長で2週間、それ以外については最長で1ヶ月とする。ただし、資料館館長が必要であると判断した場合にはその限りではない。

(貸出数量)

第7条 一度の申請において、貸出可能な数量は次の各号に定める。

- (1) 沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネルについては、20点以内とする。
- (2) 平和のウムイ地域版セット及び平和学習キットについては、2点以内とする。
- (3) 戦争体験証言ビデオについては、5本以内とする。

(費用負担)

第8条 資料の貸出及び返却に要する費用は、全て申請者がこれを負担する。

(貸出資料の保管及び禁止事項等)

第9条 第4条第2項の規定により貸出しを受けた資料 (以下「貸出資料」という。) は、貸出を受けた者 (以下「利用者」という。) が、責任をもって保管しなければならない。

- 2 利用者は、貸出資料を貸出申請理由以外の目的で使用してはならない。
- 3 利用者は、貸出資料を他人に譲渡または貸与してはならない。
- 4 利用者は、貸出資料の複製または原型に変形を加えてはならない。
- 5 利用者は、貸出資料を紛失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

(貸出資料の返還)

第10条 利用者は、貸出資料を貸出期限内に確実に返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。
- 3 利用者が貸出資料を期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。
- 4 利用者が貸出資料を返還する際の輸送方法は、原則として、専門的技量を有する輸送業者扱いとすること。

(報告書の提出について)

第11条 利用者は、貸出資料の利用状況について、貸出資料利用報告書 (第6号様式) を提出しなければならない。ただし、戦争体験証言ビデオについてはその限りではない。

(許可の取り消し)

第12条 資料館館長は、利用者がこの要項に違反したとき、または許可証に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取消により生じた損害については、沖縄県及び資料館はその責を負わない。

附 則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県知事 印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	沖縄戦実物資料
数 量	点
規 格	
用 途	
貸出期間	令和 年 月 日（ ）から 令和 年 月 日（ ）まで
貸出条件	<ol style="list-style-type: none"> 1 目的以外に使用しないこと。 2 貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。 3 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。 4 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。 5 貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。

<別紙①>

貸出許可資料明細

殿

沖縄県知事 印
(沖縄県平和祈念資料館)

NO	資料名	実物資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合計		

戦争体験証言ビデオ貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団 体 名：

氏 名： 印

電話番号：

(担当者：)

戦争体験証言ビデオについて、貸出しを申請します。

種 別	希望するビデオの番号を記入して下さい。 ・沖縄戦体験証言ビデオ () ・平和のウムイDVD () ・日系二世がみた戦中・戦後DVD () ・戦争体験者証言多言語吹き替え映像「DVD 1名収録」 1枚で貸出 () ・住民の見た 沖縄戦証言「多言語ブルーレイディスク70名収録」 2枚1組(セット)で貸出 ()
本 数	本 (5本以内を原則とする)
期 間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする
申請理由	

平和のウムイ地域版セット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団 体 名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人
住 所：
氏 名： 印
電話番号：

子や孫のつなぐ平和のウムイ地域版セットについて、貸出しを申請します。

資 料 名	希望する地域版セットに○をつけて下さい。 ・ 北部地区セット (DVD 1枚、写真パネル6点、証言集6点) () ・ 中部地区セット (DVD 1枚、写真パネル6点、証言集6点) () ・ 那覇(南部)地区セット (DVD 1枚、写真パネル11点、証言集11点) () ・ 久米島地区セット (DVD 1枚、写真パネル11点、証言集11点) () ・ 宮古島地区セット (DVD 1枚、写真パネル11点、証言集11点) () ・ 石垣島地区セット (DVD 1枚、写真パネル12点、証言集12点) ()
数 量	セット (2セット以内を原則とする)
期 間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする (借用及び返却の日を含む)
申請理由	

平和学習キット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団 体 名：

氏 名：

印

電話番号：

(担当者：)

保 証 人

住 所：

氏 名：

印

電話番号：

平和学習キットについて、貸出しを申請します。

資 料 名	希望するキットに○をつけて下さい。 ・平和学習キットA「戦争とくらし」19点 () ・平和学習キットB「沖縄戦の記憶」20点 () ・平和学習キットC「沖縄戦の記録写真」30点 () ・平和学習キットD「みんななかよく」絵本1点・紙芝居2点 ()
数 量	セット (2セット以内を原則とする)
期 間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする(借用、返却の日を含む)
申請理由	

沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館長 印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	点
資 料 名	
用 途	
貸出期間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで
貸出条件	<ol style="list-style-type: none"> 1 貸出資料は、貸出申請者が責任をもって保管しなければならない。 2 貸出申請者は、貸出資料を申請理由以外の目的で使用しないこと。 3 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。 4 貸出申請者は、貸出資料を複製又は原形に変更を加えてはならない。 5 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。 6 貸出申請者は貸出資料を貸出期限内に返還しなければならない。 7 平和祈念資料館の都合により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。 8 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。 9 貸出申請者は、貸出資料を返還する際には、専門的技量を有する輸送業者にて輸送しなければならない。 10 貸出申請者は、貸出資料の利用状況について、沖縄県平和祈念資料館利用報告書（第6号様式）を提出しなければならない。

<別紙>

貸出許可資料明細

NO	資料種別	資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

平和祈念資料館資料貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒
 団 体 名：
 氏 名： 印
 電話番号：
 （担当者： ）
 保 証 人
 住 所：〒
 氏 名： 印
 電話番号：

沖縄県平和祈念資料館の資料について、貸出しを申請します。

種 別	沖縄戦の写真パネル 点・ 沖縄戦の絵複製パネル 点 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品 点・ 世界人権宣言パネル 点
資 料 名	
数 量	点 (20点以内を原則とする)
期 間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで
申請理由	

<別紙>

貸出申請資料明細

NO	資料種別	資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

貸出資料利用状況報告書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

日 時 令和 年 月 日
 団体名
 代表者
 住 所 〒
 電 話
 担当者

次のとおり、沖縄県平和祈念資料館貸出資料の利用状況を報告します。

利用目的 (行事名等)			
借用期間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()		
利用場所		利用者数 (参観者数)	
借用資料	1 沖縄戦実物資料	(点)	
	2 沖縄戦写真パネル	(点)	
	3 沖縄戦の絵パネル	(点)	
	4 児童・生徒の平和メッセージ作品	(点)	
	5 世界人権宣言パネル	(点)	
	6 平和のウムイ地域版セット	(セット)	
	7 平和学習キット	(セット)	
利用状況 および感想			

*利用状況写真、参考資料などがあれば添付し、資料返却時または返却後1週間以内にファックスか郵送で送付して下さい。

送付先：沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614番地の1
 TEL：098-997-3844 FAX：098-997-3947

Ⅻ 沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧											無 料 観 覧 者	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考
	観 覧 料 種 別			出 身 別			計									
	大 人 個 人 (%)	大 人 団 体 (%)	小 人 個 人 (%)	小 人 団 体 (%)	県 内	県 外	外 国									
昭和50年度	13,784 (75)	2,025 (11)	1,759 (9)	900 (5)								18,468	248	74		
51年度	9,520 (53)	4,200 (23)	963 (5)	3,408 (19)								18,091	306	59		
52年度	10,480 (54)	4,264 (22)	818 (4)	3,932 (20)								19,494	307	72		
53年度	14,022 (40)	4,855 (14)	1,877 (5)	14,097 (41)								34,851	220	158		
54年度	22,288 (41)	6,307 (12)	3,600 (7)	21,513 (40)								53,708	305	176		
55年度	20,727 (39)	5,830 (11)	3,109 (6)	23,762 (44)	3,506	22,746	176					53,428	307	174		
56年度	20,215 (34)	5,985 (10)	3,367 (6)	29,211 (50)	33,671	24,797	310					58,778	304	199		
57年度	26,357 (36)	7,077 (10)	4,243 (6)	34,584 (48)	33,709	38,030	522					72,261	307	240		
58年度	26,359 (35)	8,051 (11)	4,827 (6)	36,272 (48)	34,795	40,029	685					75,509	307	252		
59年度	27,265 (34)	9,203 (11)	3,932 (5)	39,791 (50)	32,646	46,335	1,210					80,191	255	326		
60年度	29,888 (31)	13,263 (14)	4,701 (5)	49,073 (50)	34,993	60,371	1,561					96,925	306	326		
61年度	27,529 (27)	13,364 (13)	4,629 (5)	54,622 (55)	34,783	63,581	1,780					100,144	306	335		
62年度	40,566 (34)	14,395 (12)	5,441 (5)	57,976 (49)	33,298	83,019	2,061					118,378	306	403		
63年度	45,058 (34)	16,719 (13)	5,557 (4)	63,910 (49)	32,819	95,473	2,952					131,244	306	440		
平成元年度	35,325 (31)	14,477 (12)	7,016 (6)	59,363 (51)	27,941	84,600	3,640					116,181	307	397		
2年度	29,514 (29)	12,281 (12)	5,950 (6)	52,511 (52)	22,855	74,010	3,391					100,256	306	388		
3年度	26,687 (30)	11,246 (13)	5,279 (6)	45,409 (51)	20,182	64,938	3,501					88,621	305	320		
4年度	26,500 (32)	9,778 (12)	5,661 (7)	40,021 (49)	17,197	61,011	3,752					81,960	307	303		
5年度	22,667 (28)	11,191 (14)	5,683 (7)	41,461 (51)	15,272	62,130	3,600					81,002	310	274		
6年度	18,056 (23)	9,161 (12)	4,563 (6)	48,084 (60)	13,551	62,528	3,785					79,864	310	267		
7年度	70,319 (45)	16,676 (11)	13,837 (9)	53,282 (35)	45,214	104,854	4,046					154,114	308	525		
8年度	59,643 (39)	16,393 (11)	11,056 (7)	64,840 (43)	26,540	121,886	3,506					151,932	311	507		
9年度	62,485 (35)	13,247 (8)	10,137 (6)	91,099 (55)	20,128	153,889	2,951					176,968	310	593		
10年度	58,196 (35)	10,647 (6)	10,426 (6)	89,965 (53)	15,211	151,195	2,828					169,234	312	558		
11年度	59,654 (34)	8,367 (4)	9,952 (6)	97,464 (56)	12,128	160,724	2,585					175,437	295	611		
												2,307,039				2,411,762

- I 概 要
- II 調査研究
- III 展示企画
- IV 資料収集・活用事業
- V 教育普及
- VI 広報活動・出版等
- VII その他の事業
- VIII 入館者状況
- IX 八重山平和祈念館
- X 友の会活動報告
- XI 関係条例・規則・要綱
- Ⅻ 入館状況別



平和祈念ホール of 緞帳「アリア沖縄」(8.0×4.5m)
沖縄を中心にした世界地図、上下が逆になっており、沖縄とアジアの国の位置関係が一目でわかる

沖縄戦の真相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残酷で、これほど汚辱にまみれたものはない
と思ってしまう

この なまなましい体験の前では

いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは、できないはず

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さずに奴力のできるのも

私たち 人間 下はない下しようか

戦後このかた 私たちは

あらゆる戦争を増み

平和な島を建設せねば と思いつけてきました

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た

ゆずることのできない

私たちの信余なのです

(沖縄県平和祈念資料館展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第20号

2020(令和2)年7月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

八重山平和祈念館(分館)

住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の 3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

印刷：株式会社 国際印刷

住所：〒907-0147 沖縄県那覇市宮城 1 丁目 13 番 9 号

TEL 098-857-3385 FAX 098-857-3892

平和祈念公園案内図

Peace Memorial Park Guide Map



沖繩工業健児之塔
Memorial for Students
of Okinawa Technical School

沖繩県平和祈念資料館
Peace Memorial Museum

韓国人慰霊塔
War Memorial
for Koreans

沖繩平和祈念堂
The Okinawa Peace Hall

第2駐車場
Parking Lot

中央口
Central Gate

平和の火
Flame of Peace

平和の礎
The Cornerstone of Peace

エントランス広場
Entrance Plaza

公園管理事務所
Park Superintendent's Office

第1駐車場
Parking Lot

式典広場
Ceremony Grounds

沖繩県平和祈念財団
Okinawa Peace Memorial Foundation

平和の丘
Peace Hill

島守之塔
Shimamori Monument

霊域園路
Memorial Path

摩文仁の丘
Mabuni Hill

国立沖縄戦没者墓苑
National War Dead
Peace Mausoleum

台湾の塔
Taiwan Monument

樺太の碑
Karafuto Monument

黎明之塔
Reimei Monument

沖繩師範健児之塔
Memorial for Students
of Okinawa Education College



北口
North Gate

子供の広場
Children's Playground

多目的広場
Multi-Purpose Ground

木道
Board walkways

南口
South Gate

沖繩県平和祈念資料館
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL MUSEUM
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614-1 電話 098-997-3844 FAX 098-997-3947

公益財団法人 沖繩県平和祈念財団
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL FOUNDATION
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 444 電話 098-997-2765 FAX 098-997-2767

公益財団法人 沖繩協会 沖繩平和祈念堂
THE OKINAWA FOUNDATION THE OKINAWA PEACE HALL
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 448-2 電話 098-997-3011 FAX 098-997-2678